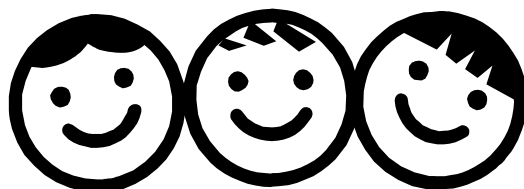


高 校 生 の 男 女 共 同 参 画 と D V 対 する 男 女 の 意 識 に 関 する ア ン ケ ー ト 調 査 結 果 に つ い て



令和7年1月

鹿角市市民部生活環境課

調査の概要

1. 調査目的

本市では、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などにより、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指しています。

本調査は、高校生における男女共同参画と男女間のDV意識に関する実態の把握を行い、DVについての認識を浸透させるとともに、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的としています。

2. 調査対象

鹿角高校1年生を対象としました。

3. 調査方法

対象の161人に対して学校を通じて調査票を配付し、記入後回収しています。

4. 調査期間

令和6年11月19日（火）から令和6年12月27日（金）まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について・・・P1
- ・学校における男女共同参画について・・・P4
- ・結婚、家庭、離婚に対する考え方について・・・P5
- ・性別により役割や責任が固定される考え方について・・・P10
- ・デートDVについて・・・P11
- ・DV行為に対する意識について・・・P13
- ・DV行為に関する相談機関について・・・P27
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて・・・P28

6. 調査結果

調査票送付数	161
調査票回収数	158
回収率	98.1%

7. 調査結果の公表について

本調査の集計結果は、鹿角高校に配付するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料とします。

8. その他

割合の表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計は100%にならない場合があります。

○回答者の属性

問1. あなたの性別は。

	人数(人)	割合(%)
男 性	74	46.8
女 性	84	53.2
計	158	100.0

○調査の結果

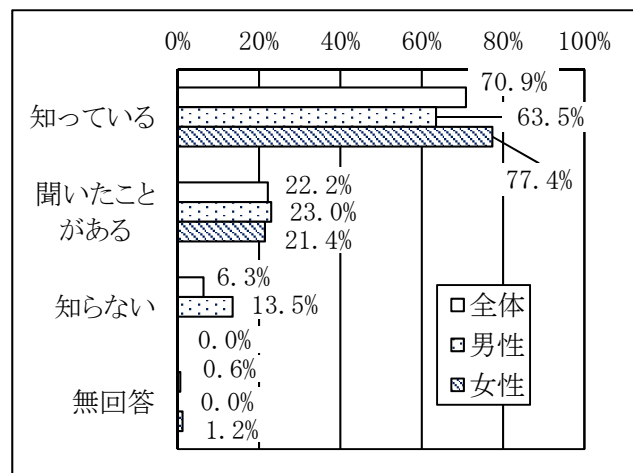
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

7割の生徒が「知っている」と回答しました。

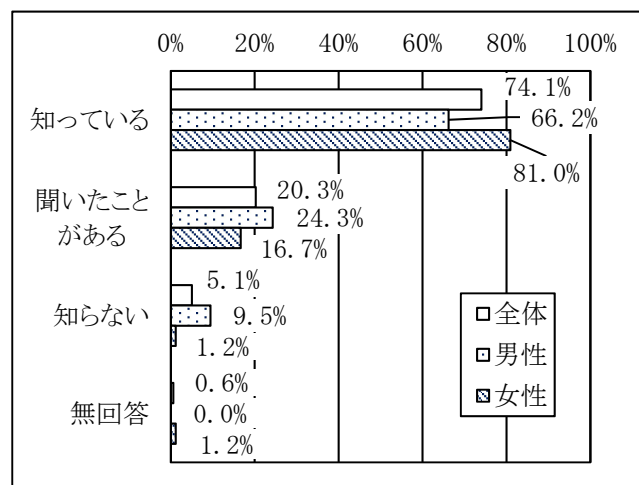
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	112	70.9	47	63.5	65	77.4
聞いたことがある	35	22.2	17	23.0	18	21.4
知らない	10	6.3	10	13.5	0	0.0
無回答	1	0.6	0	0.0	1	1.2
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



(2) ワーク・ライフ・バランス

7割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

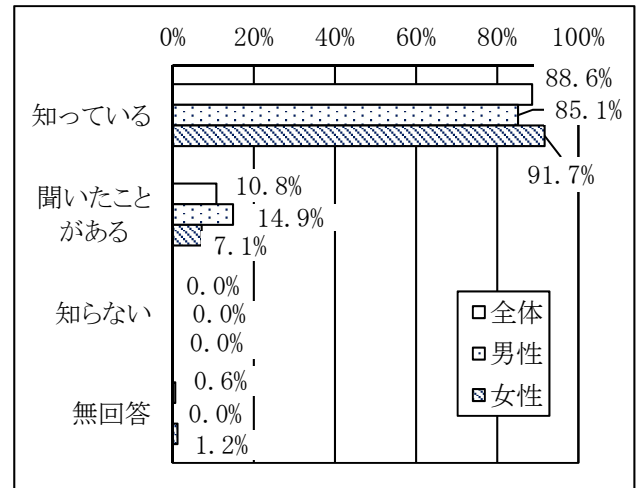
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	117	74.1	49	66.2	68	81.0
聞いたことがある	32	20.3	18	24.3	14	16.7
知らない	8	5.1	7	9.5	1	1.2
無回答	1	0.6	0	0.0	1	1.2
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



(3) DV

8割以上の生徒が「知っている」と回答しました。また、「知らない」と回答した生徒はいませんでした。

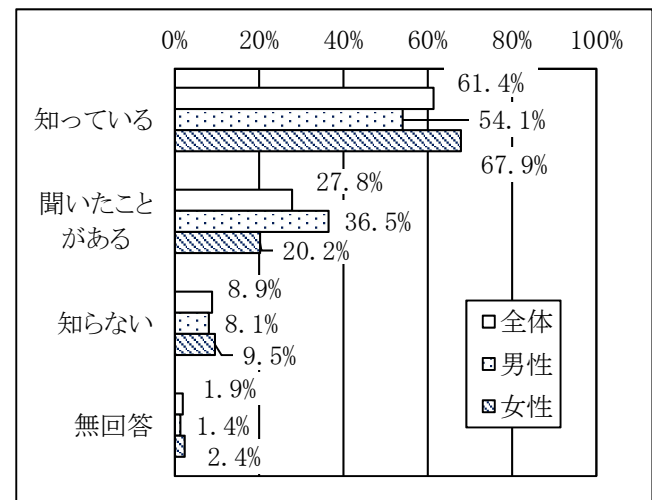
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	140	88.6	63	85.1	77	91.7
聞いたことがある	17	10.8	11	14.9	6	7.1
知らない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1	0.6	0	0.0	1	1.2
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



(4) 育児・介護休業法

6割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

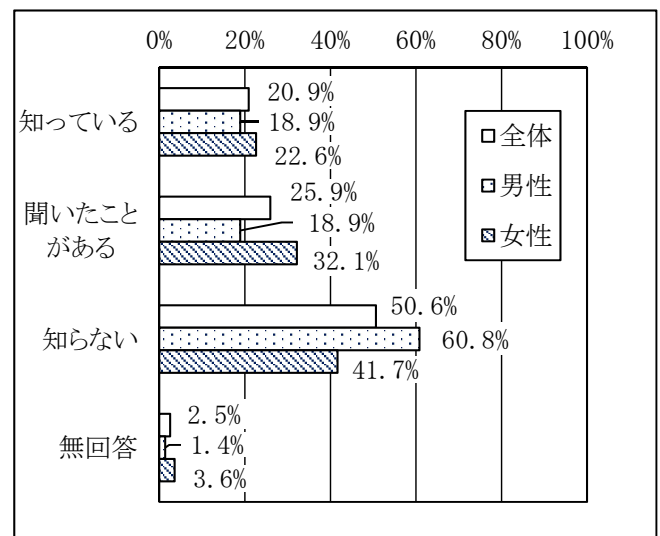
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	97	61.4	40	54.1	57	67.9
聞いたことがある	44	27.8	27	36.5	17	20.2
知らない	14	8.9	6	8.1	8	9.5
無回答	3	1.9	1	1.4	2	2.4
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



(5) 固定的性別役割分担

5割の生徒が「知らない」と回答しました。

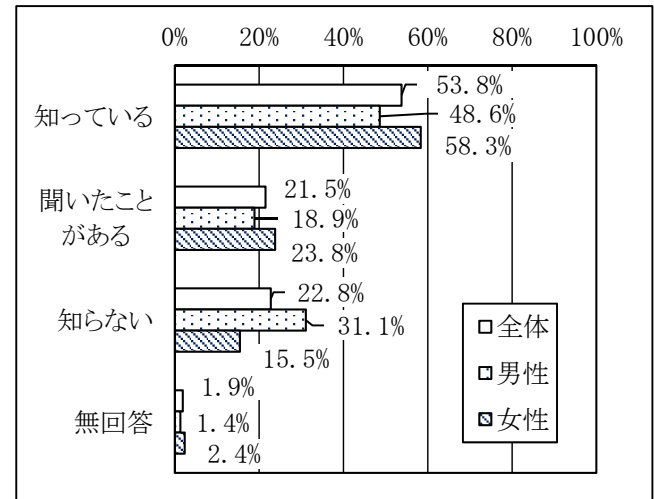
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	33	20.9	14	18.9	19	22.6
聞いたことがある	41	25.9	14	18.9	27	32.1
知らない	80	50.6	45	60.8	35	41.7
無回答	4	2.5	1	1.4	3	3.6
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



(6) L G B T

5割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	85	53.8	36	48.6	49	58.3
聞いたことがある	34	21.5	14	18.9	20	23.8
知らない	36	22.8	23	31.1	13	15.5
無回答	3	1.9	1	1.4	2	2.4
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



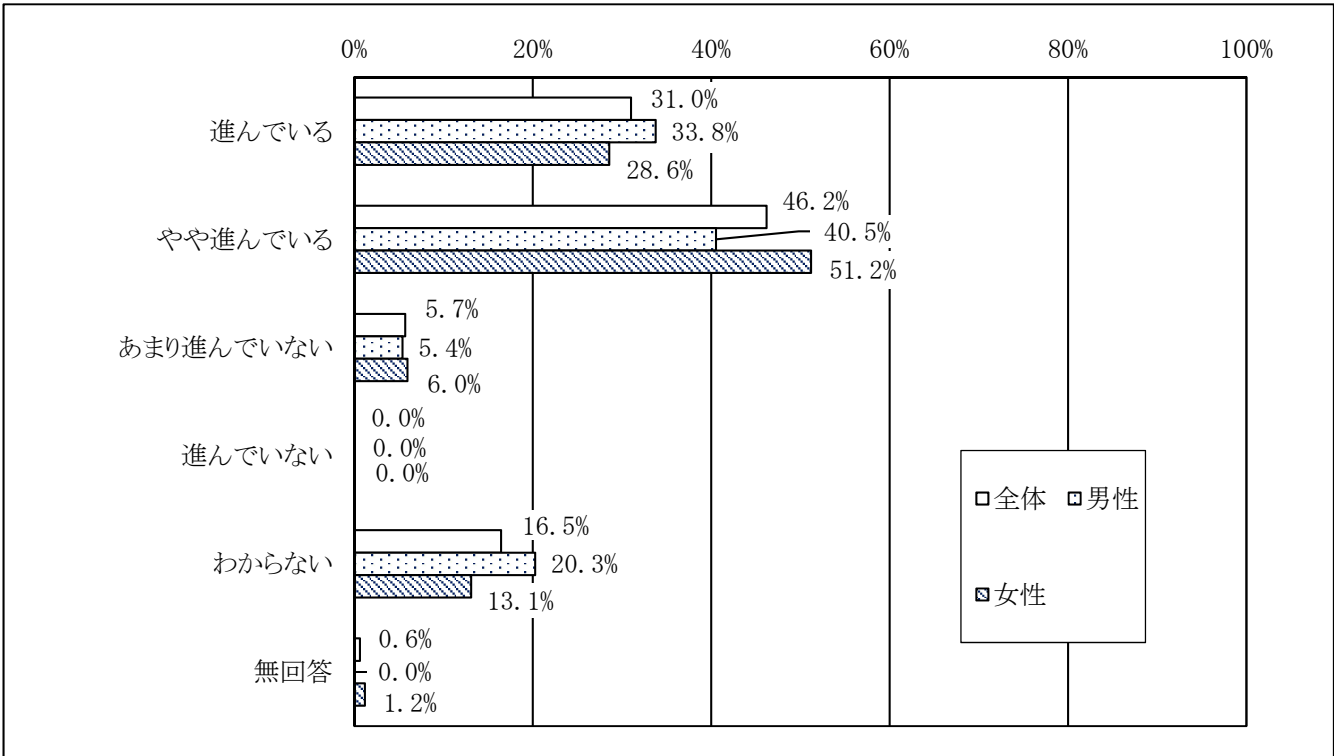
○「育児・介護休業法」と「固定的性別役割分担」という用語について、昨年度より「知っている」の割合が、「育児・介護休業法」は16.2ポイント、「固定的性別役割分担」は12.0ポイント増加しました。しかし、「LGBT」という用語について、「知らない」の割合が昨年度の3.0%から19.8ポイント増加しています。

・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

7割以上の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
進んでいる	49	31.0	77.2	25	33.8	74.3	24	28.6	79.8
やや進んでいる	73	46.2		30	40.5		43	51.2	
あまり進んでいない	9	5.7	5.7	4	5.4	5.4	5	6.0	6.0
進んでいない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
わからない	26	16.5		15	20.3		11	13.1	
無回答	1	0.6		0	0.0		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



○「進んでいる」または「やや進んでいる」の割合について、昨年度より0.9ポイント高くなりました。男女別では、昨年度は男性が女性より7.6ポイント高くなりましたが、今年度は女性が男性より5.5ポイント高くなりました。

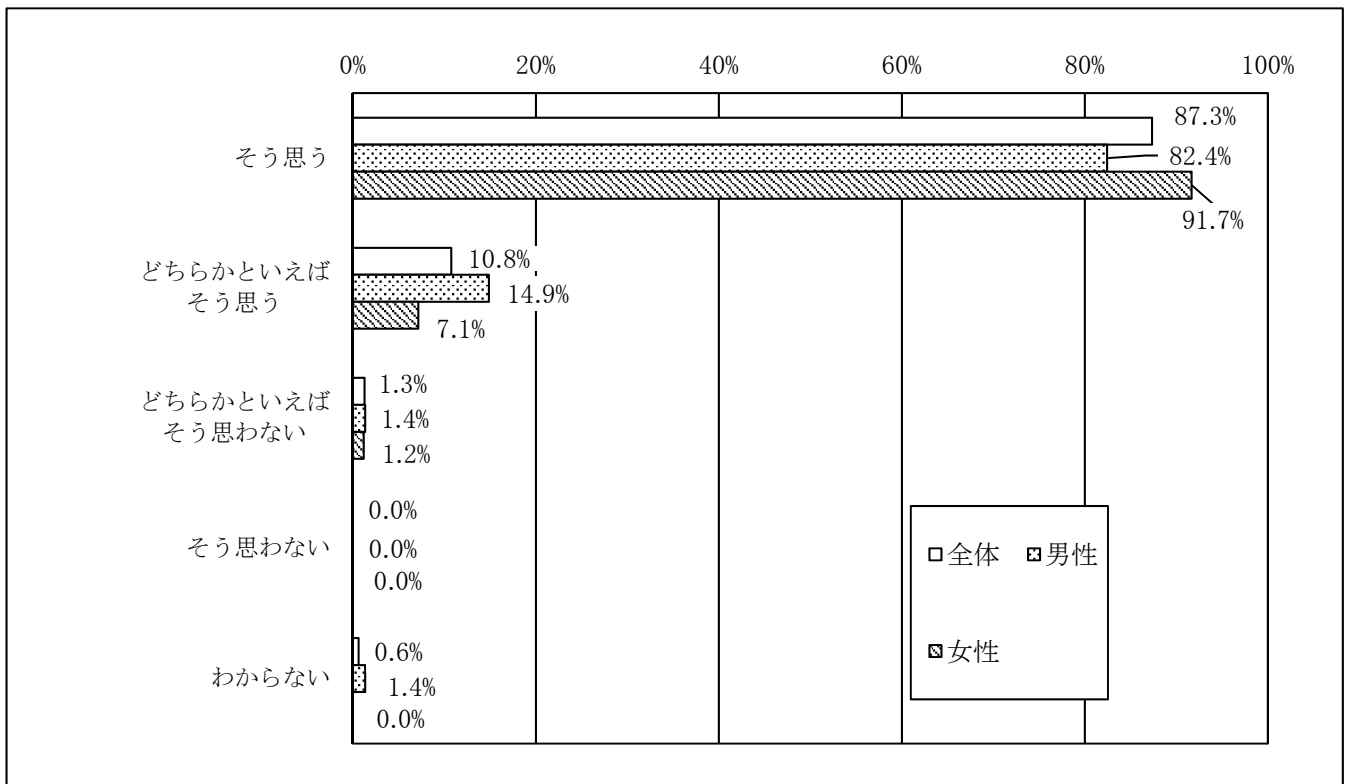
・結婚、家庭、離婚に対する考え方について

問4. 結婚、家庭、離婚に関する次の考え方について、あなたはどのように思いますか。

(1)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

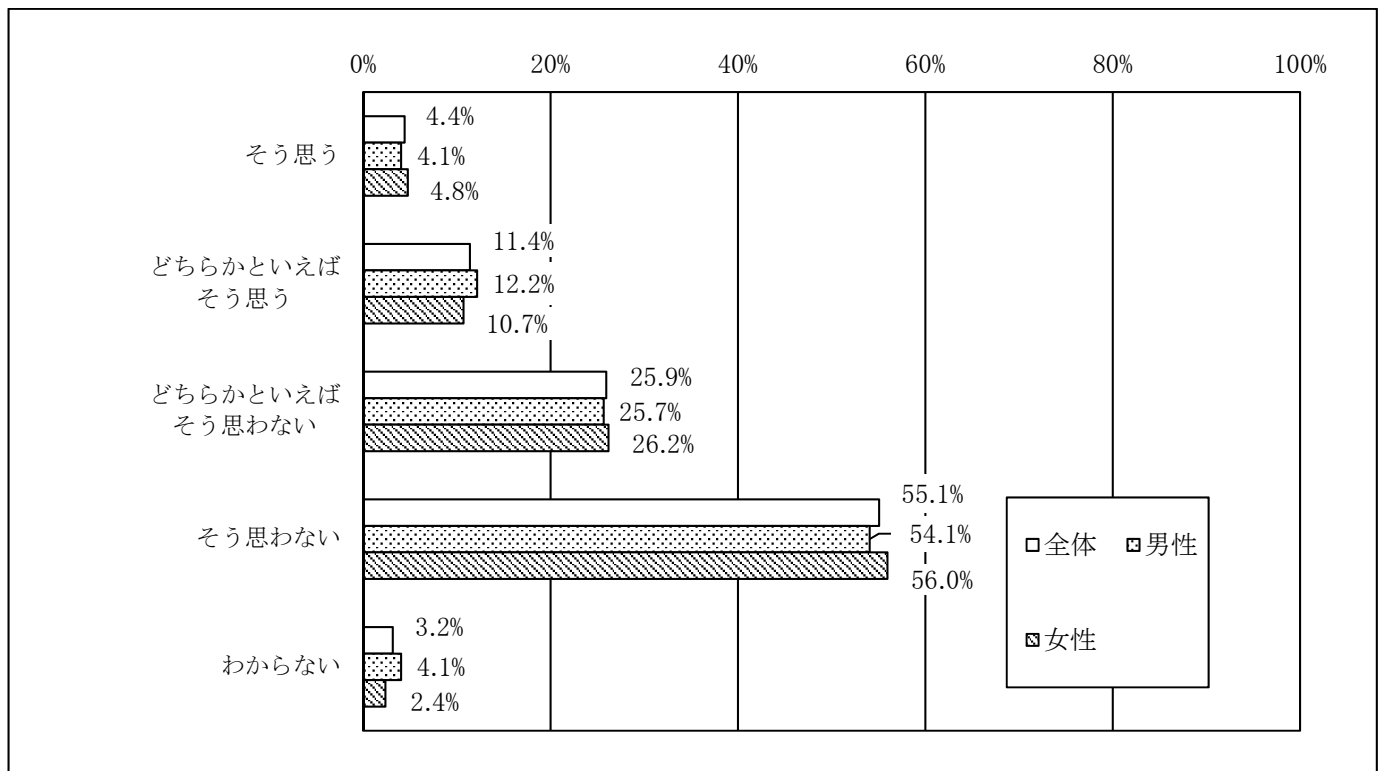
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	138	87.3	98.1	61	82.4	97.3	77	91.7	98.8
どちらかといえば そう思う	17	10.8		11	14.9		6	7.1	
どちらかといえば そう思わない	2	1.3	1.3	1	1.4	1.4	1	1.2	1.2
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
わからない	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(2) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しました。

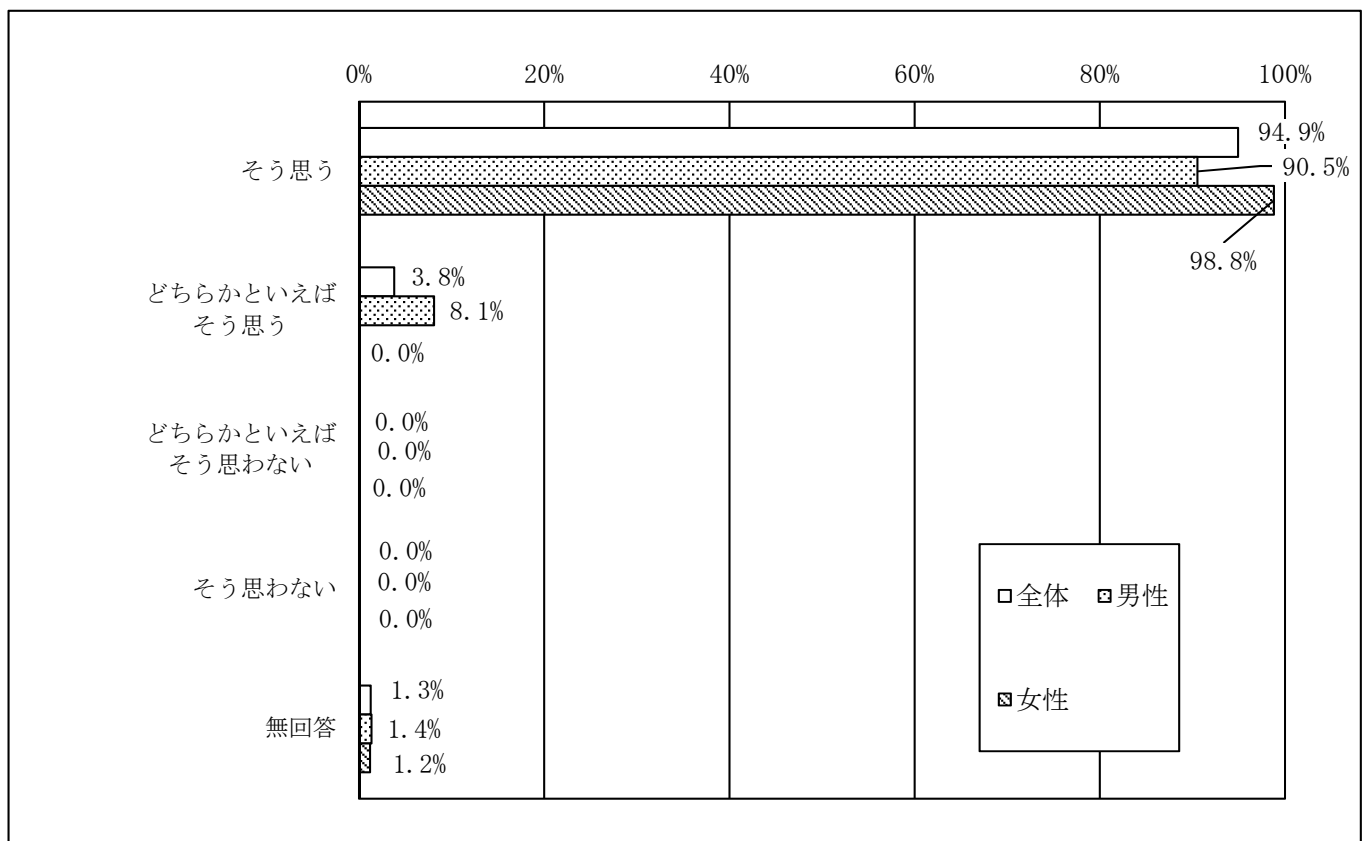
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	7	4.4	15.8	3	4.1	16.3	4	4.8	15.5
どちらかといえば そう思う	18	11.4		9	12.2		9	10.7	
どちらかといえば そう思わない	41	25.9	81.0	19	25.7	79.8	22	26.2	82.2
そう思わない	87	55.1		40	54.1		47	56.0	
わからない	5	3.2		3	4.1		2	2.4	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(3)家事や育児、介護などの家庭生活は、男性も女性も協力し合っていくほうがよい

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒はいませんでした。

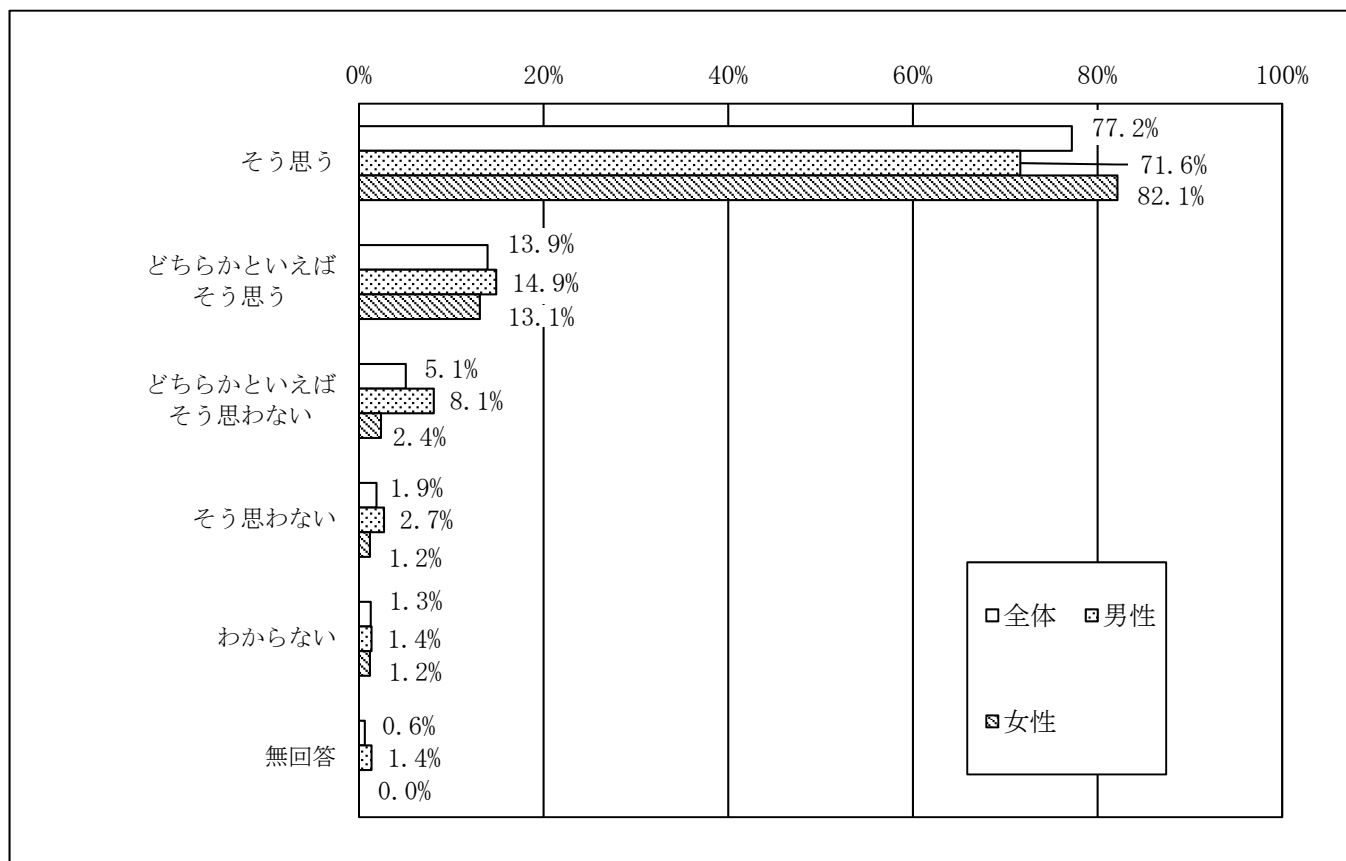
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	150	94.9	98.7	67	90.5	98.6	83	98.8	98.8
どちらかといえば そう思う	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
どちらかといえば そう思わない	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	2	1.3		1	1.4		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(4) 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。昨年度も女性の割合が高く、女性と男性との差は28.3ポイントでしたが、今年度の差は8.7ポイントとなっています。

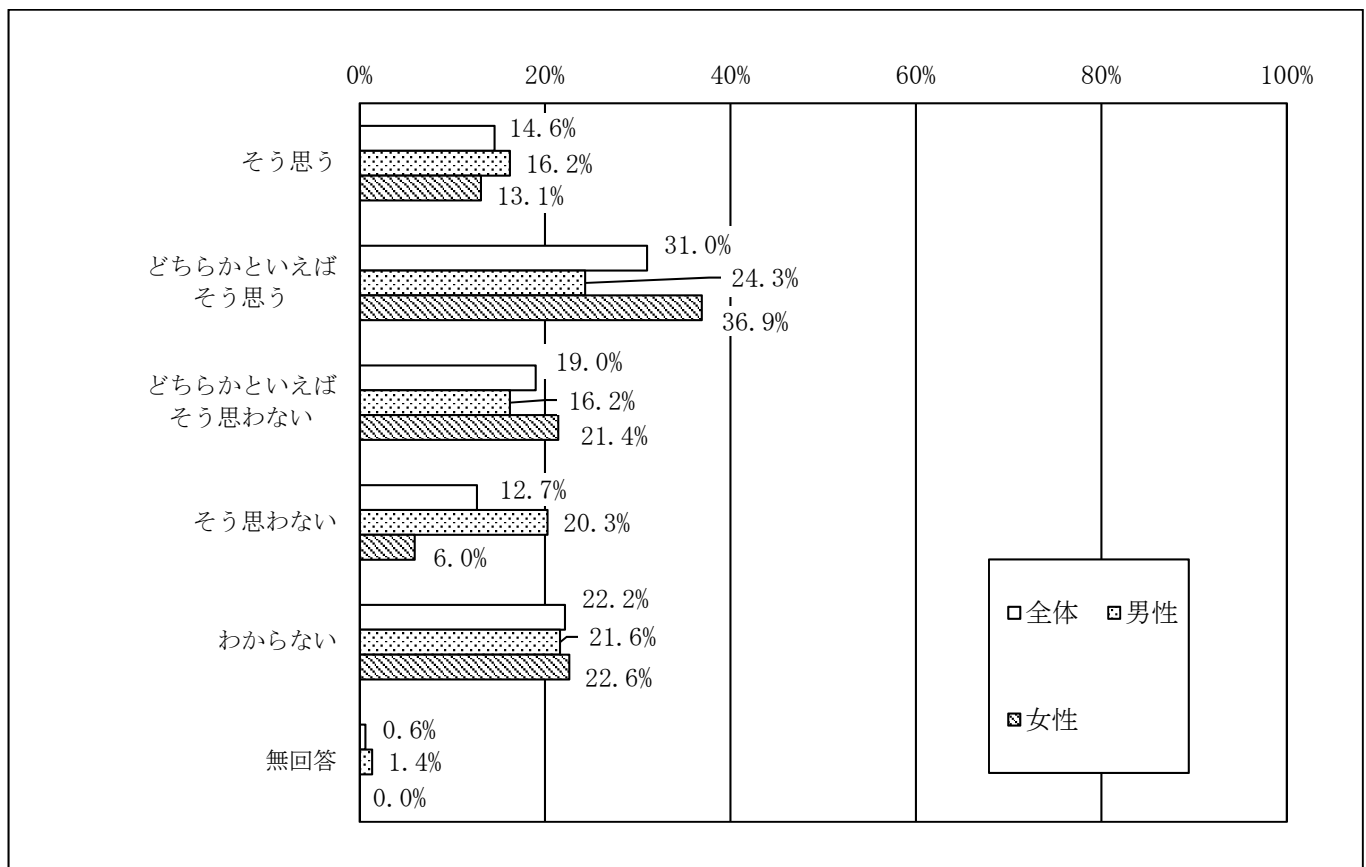
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	122	77.2	91.1	53	71.6	86.5	69	82.1	95.2
どちらかといえば そう思う	22	13.9		11	14.9		11	13.1	
どちらかといえば そう思わない	8	5.1	7.0	6	8.1	10.8	2	2.4	3.6
そう思わない	3	1.9		2	2.7		1	1.2	
わからない	2	1.3		1	1.4		1	1.2	
無回答	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(5)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

4割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は9.5ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	23	14.6	45.6	12	16.2	40.5	11	13.1	50.0
どちらかといえば そう思う	49	31.0		18	24.3		31	36.9	
どちらかといえば そう思わない	30	19.0	31.7	12	16.2	36.5	18	21.4	27.4
そう思わない	20	12.7		15	20.3		5	6.0	
わからない	35	22.2		16	21.6		19	22.6	
無回答	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



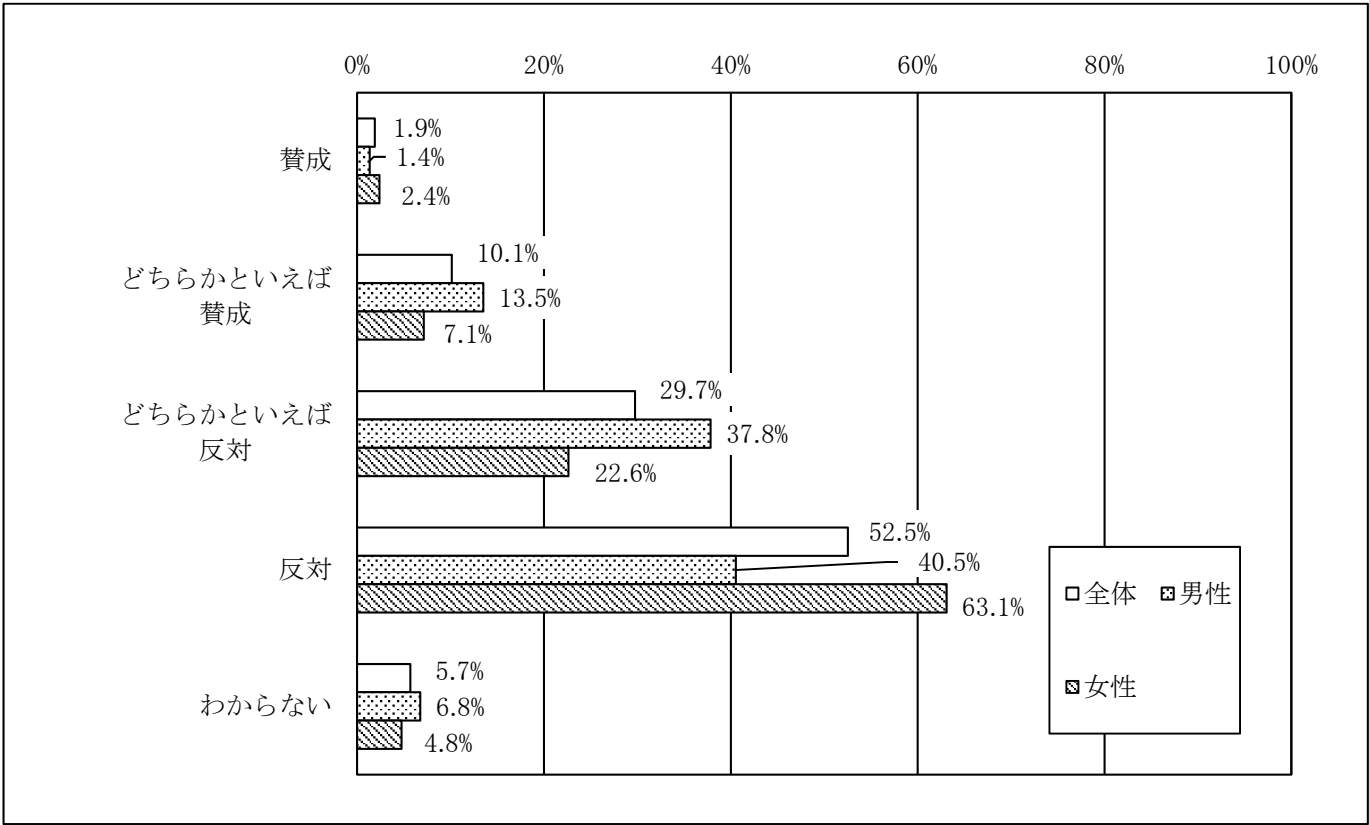
○(5)「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」の男性の回答について、昨年度は「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が高くなりましたが、今年度は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなりました。それ以外は、昨年度と同じような割合の回答となりました。

・性別により役割や責任が固定される考え方について

問5. 本人の意思に関わらず、性別により役割や責任が固定される考え方について、あなたはどのように思いますか。

8割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、男性の割合が低く、女性との差は7.4ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	3	1.9	12.0	1	1.4	14.9	2	2.4	9.5
どちらかといえば賛成	16	10.1		10	13.5		6	7.1	
どちらかといえば反対	47	29.7	82.2	28	37.8	78.3	19	22.6	85.7
反対	83	52.5		30	40.5		53	63.1	
わからない	9	5.7		5	6.8		4	4.8	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



○昨年度も、「どちらかといえば反対」または「反対」と回答した女性の割合が男性より高くなり、男性との差は16.4ポイントと大きな開きがありました。今年度は、固定的性別役割分担に対する男性と女性の考え方の差が小さくなっています。

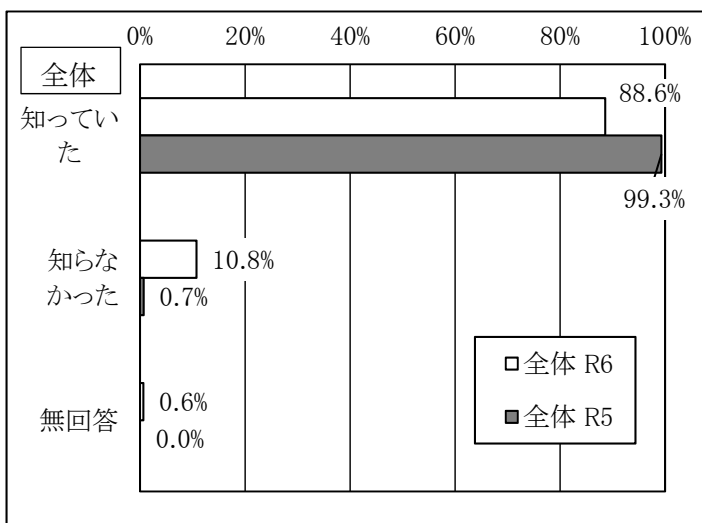
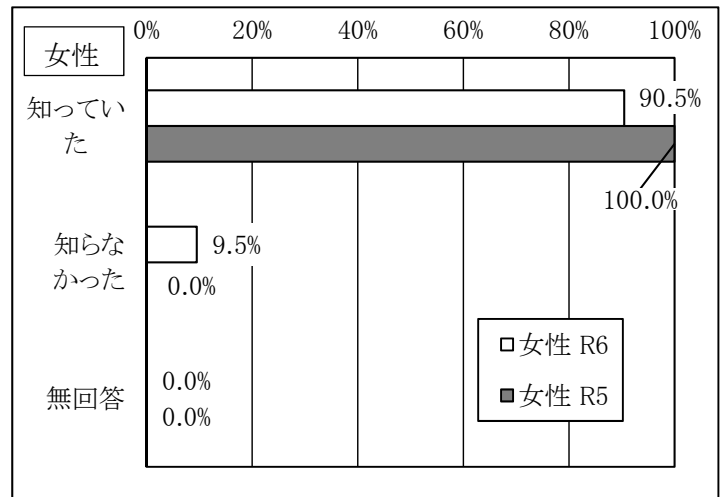
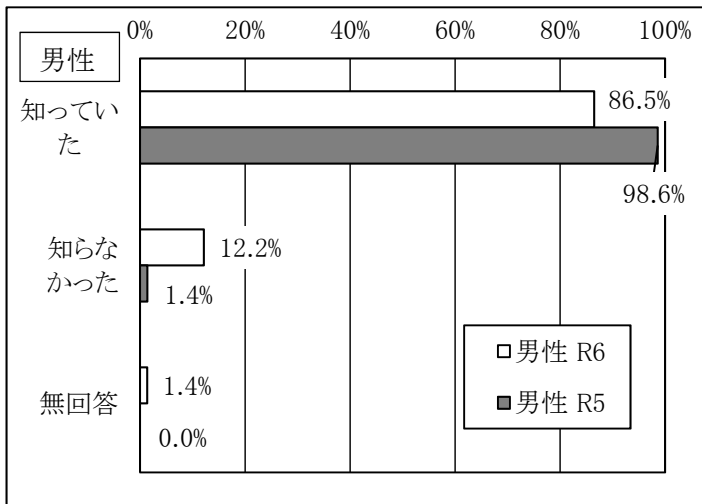
・デートDVについて

問6. あなたは、デートDVという言葉を知っていますか。

8割以上の生徒が「知っていた」と回答しましたが、その割合は昨年度に比べて10.7ポイント減少しました。

	全 体				男 性				女 性			
	R6		R5		R6		R5		R6		R5	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
知っていた	140	88.6	134	99.3	64	86.5	73	98.6	76	90.5	61	100
知らなかった	17	10.8	1	0.7	9	12.2	1	1.4	8	9.5	0	0.0
無回答	1	0.6	0	0.0	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	158	100.0	135	100.0	74	100.0	74	100.0	84	100.0	61	100.0

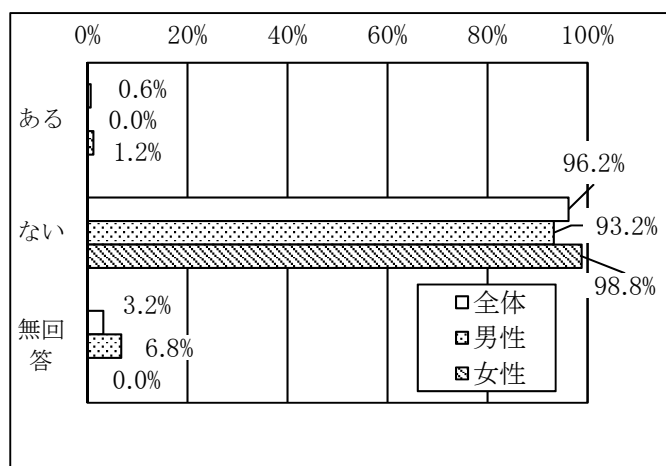
※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施。



問7. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

1人が「ある」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	1	0.6	0	0.0	1	1.2
ない	152	96.2	69	93.2	83	98.8
無回答	5	3.2	5	6.8	0	0.0
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0

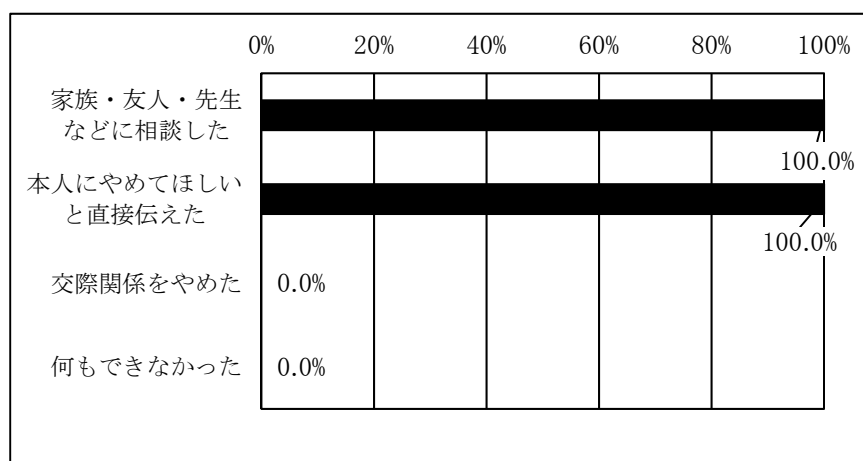


問7-1. 「ある」と回答した人に質問します。 デートDVと思われる行為を受けたときに、どのような対応をしましたか。(複数回答)

「家族・友人・先生などに相談した」「本人にやめてほしいと直接伝えた」という回答がありました。

	人数(人)	割合(%)
家族・友人・先生などに相談した	1	100.0
本人にやめてほしいと直接伝えた	1	100.0
交際関係をやめた	0	0.0
何もできなかった	0	0.0

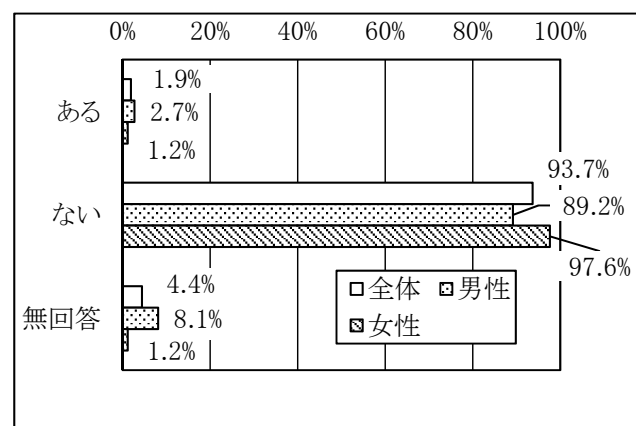
※問7で「ある」と回答した人数に対する割合



問8. あなたの友人やクラスメートが、デートDVと思われる行為を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

3人の生徒が「ある」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	3	1.9	2	2.7	1	1.2
ない	148	93.7	66	89.2	82	97.6
無回答	7	4.4	6	8.1	1	1.2
計	158	100.0	74	100.0	84	100.0



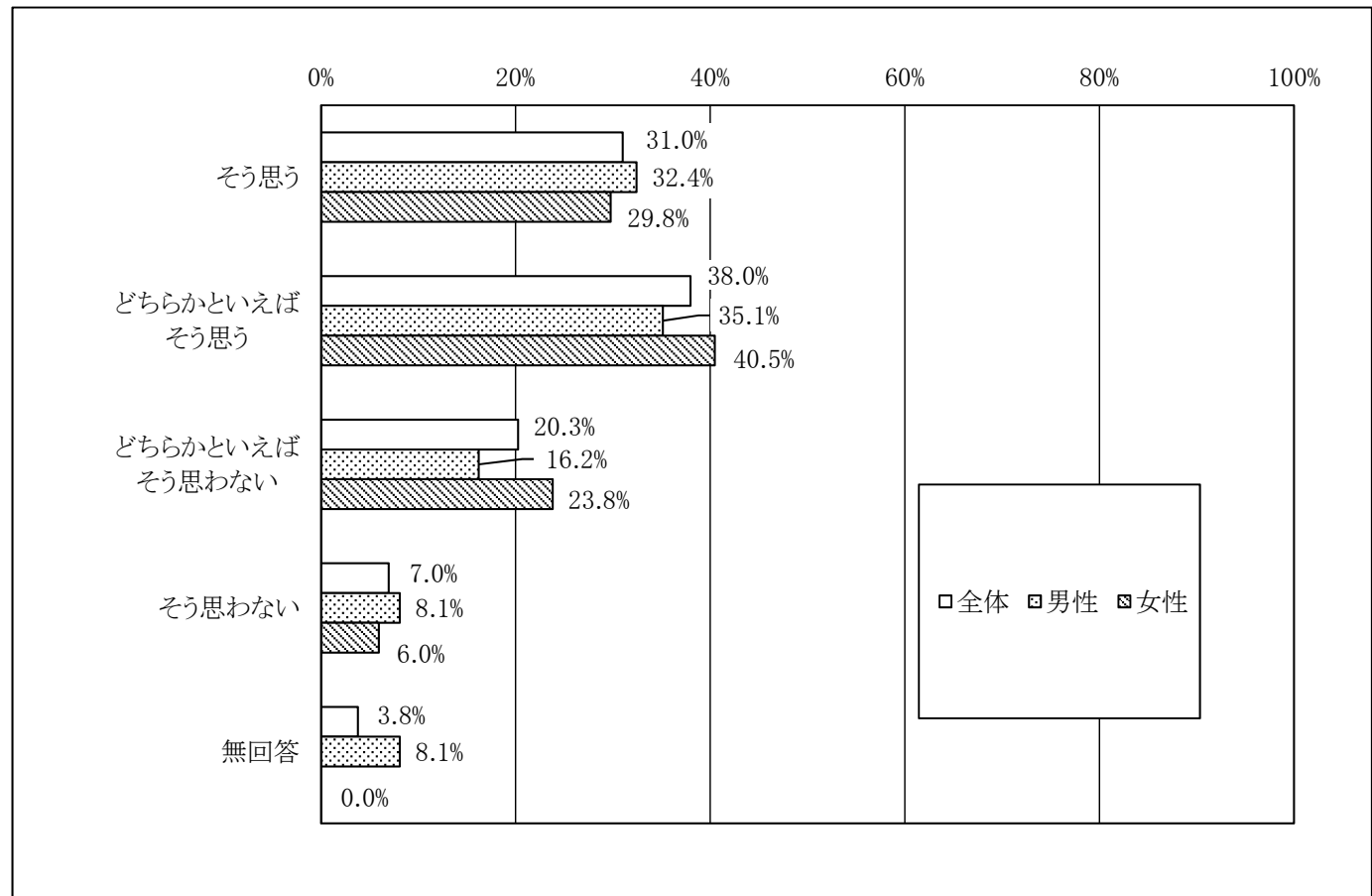
・DV行為に対する意識について

問9. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

約7割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

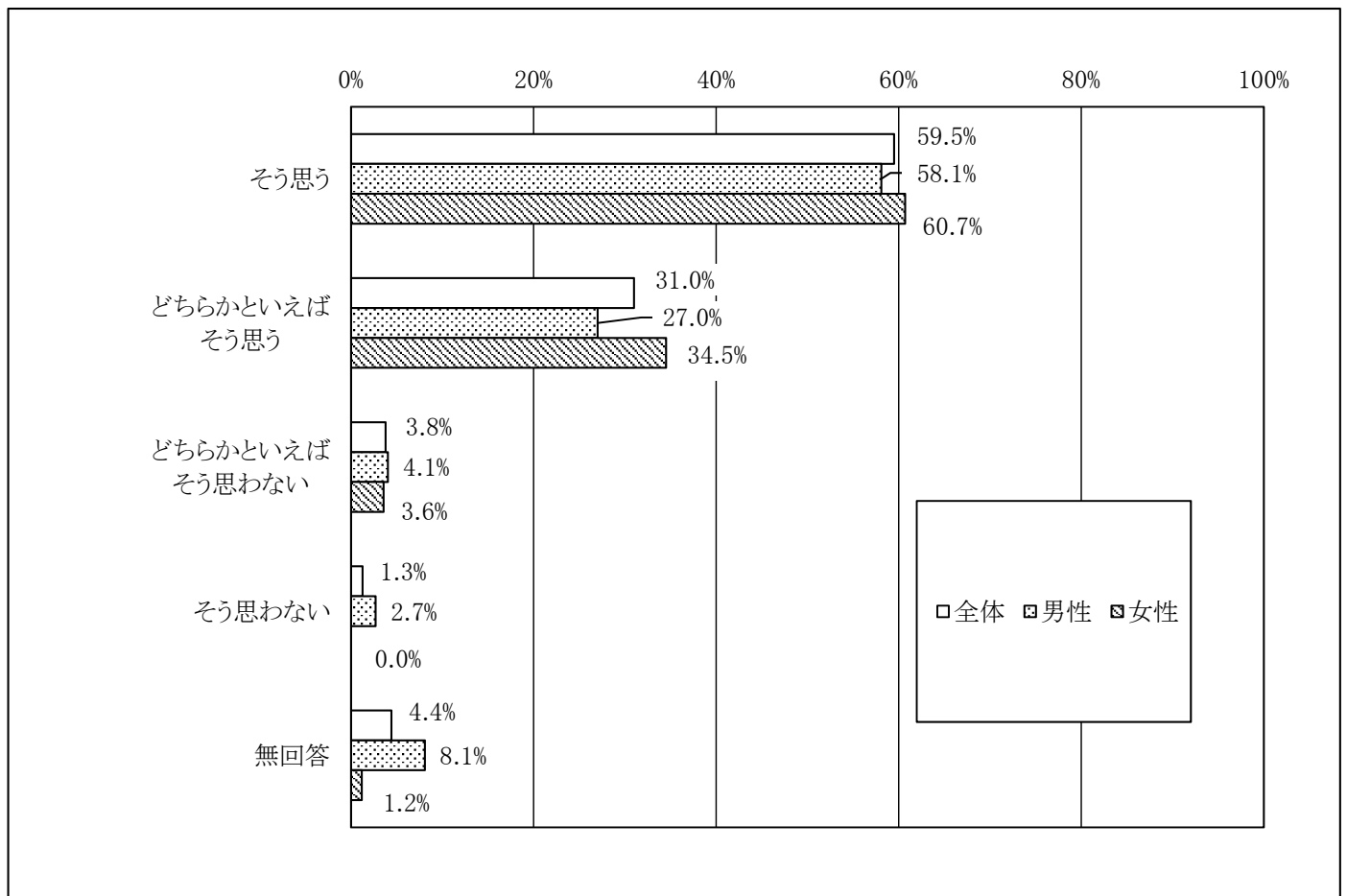
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	49	31.0	69.0	24	32.4	67.5	25	29.8	70.3
どちらかといえばそう思う	60	38.0		26	35.1		34	40.5	
どちらかといえばそう思わない	32	20.3	27.3	12	16.2	24.3	20	23.8	29.8
そう思わない	11	7.0		6	8.1		5	6.0	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(2) 大声でどなる

9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は10.1ポイントとなっています。

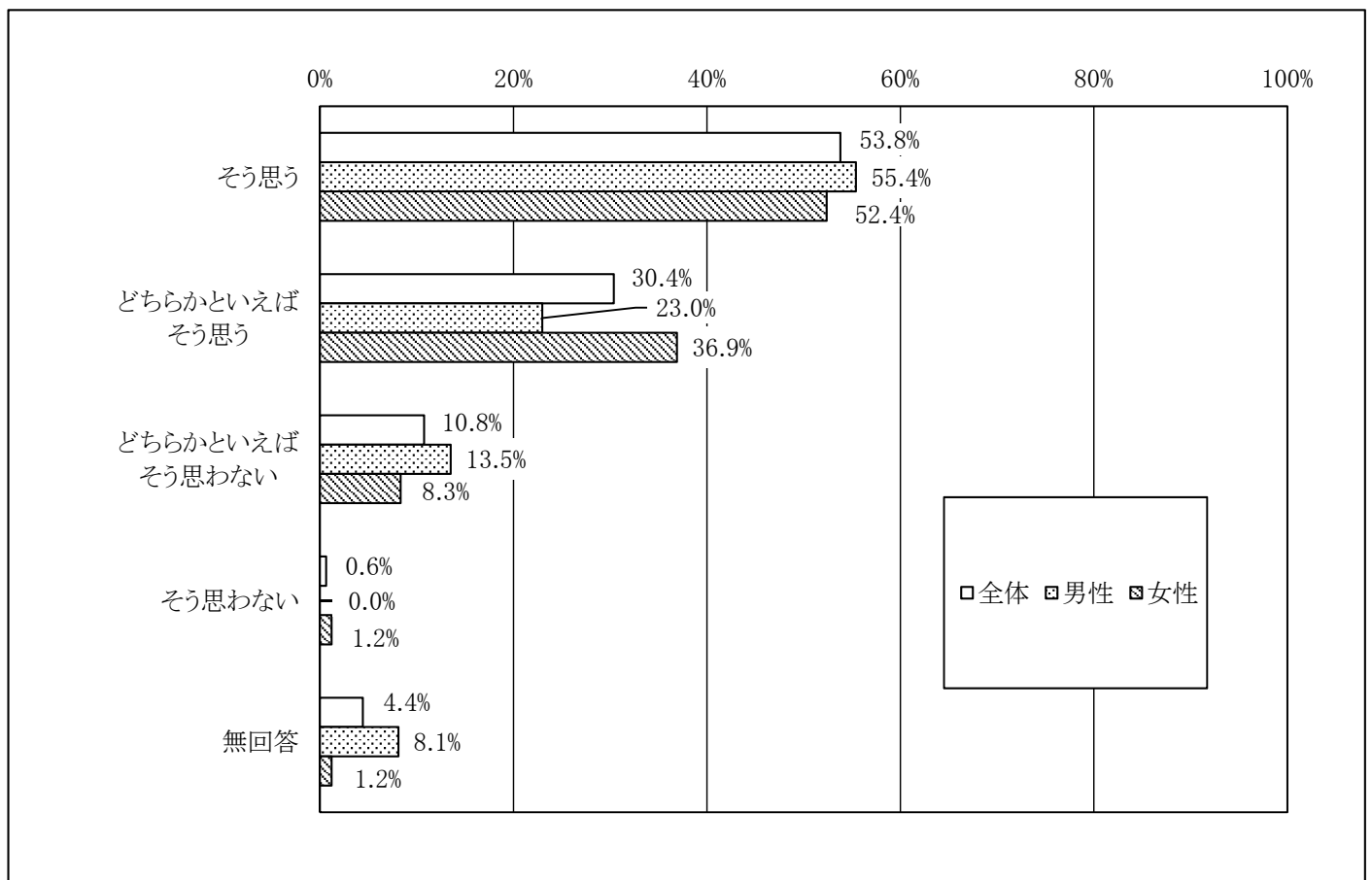
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	94	59.5	90.5	43	58.1	85.1	51	60.7	95.2
どちらかといえばそう思う	49	31.0		20	27.0		29	34.5	
どちらかといえばそう思わない	6	3.8	5.1	3	4.1	6.8	3	3.6	3.6
そう思わない	2	1.3		2	2.7		0	0.0	
無回答	7	4.4		6	8.1		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の連絡先を消せと言う

8割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は10.9ポイントとなっています。

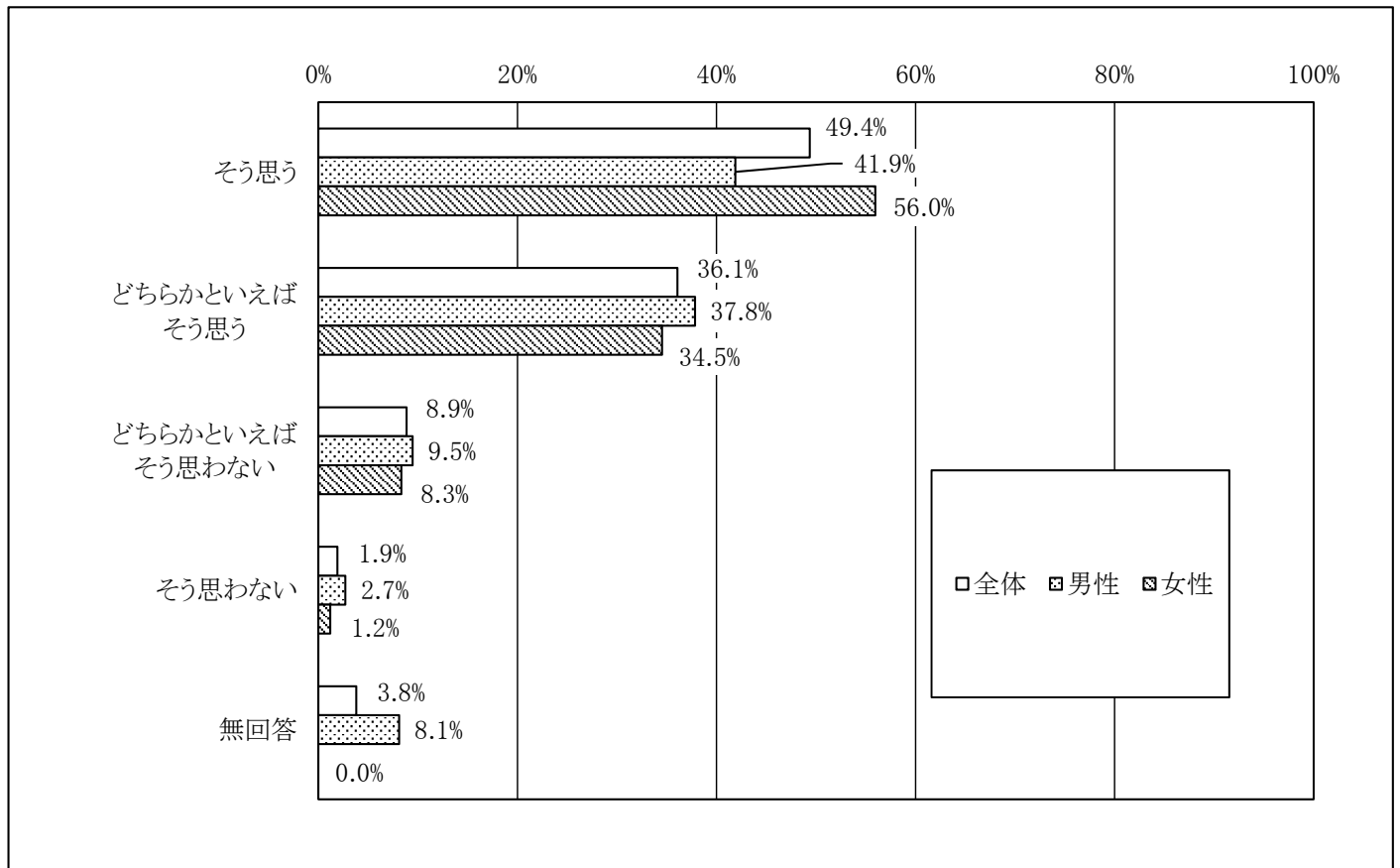
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	85	53.8	84.2	41	55.4	78.4	44	52.4	89.3
どちらかといえばそう思う	48	30.4		17	23.0		31	36.9	
どちらかといえばそう思わない	17	10.8	11.4	10	13.5	13.5	7	8.3	9.5
そう思わない	1	0.6		0	0.0		1	1.2	
無回答	7	4.4		6	8.1		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(4) しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

8割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は10.8ポイントとなっています。

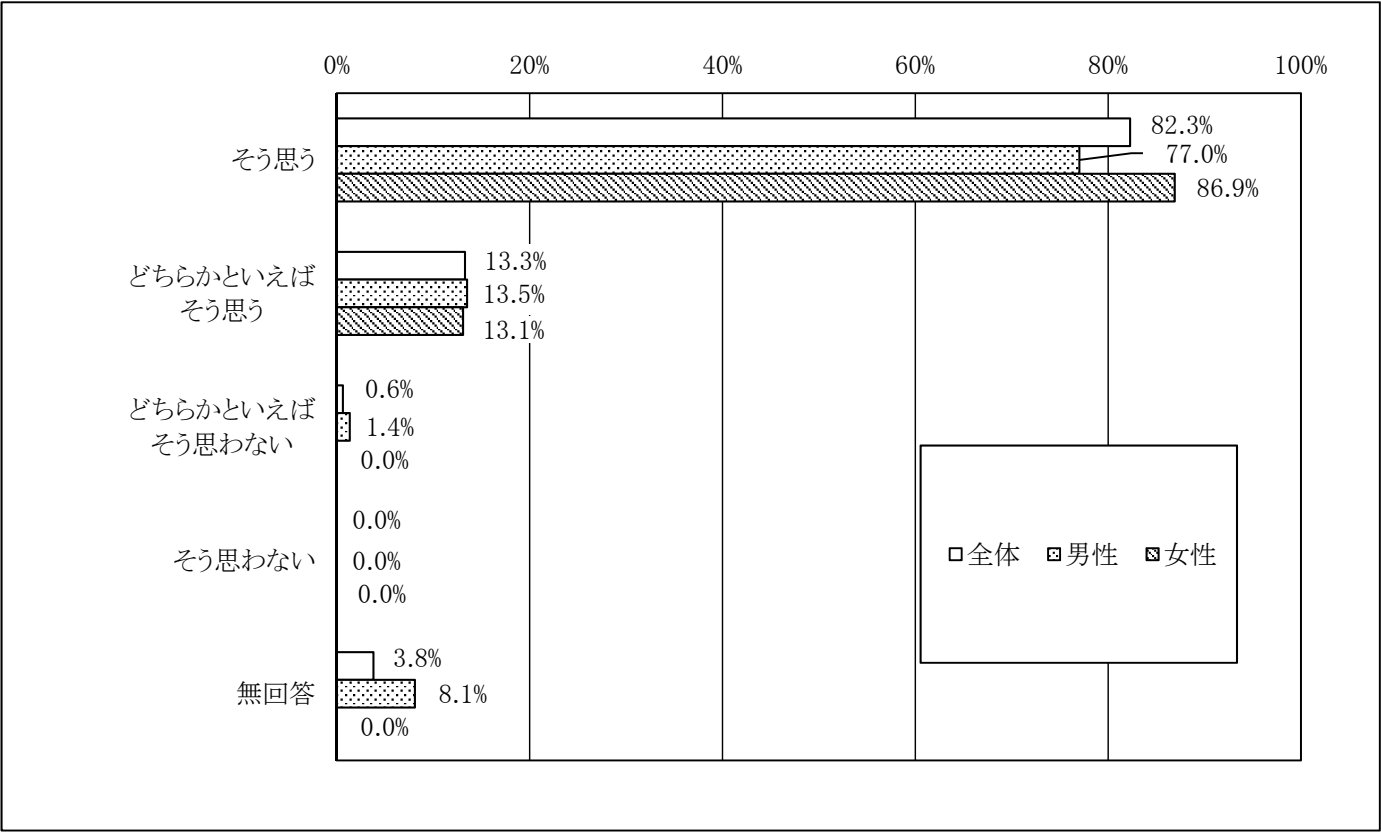
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	78	49.4	85.5	31	41.9	79.7	47	56.0	90.5
どちらかといえばそう思う	57	36.1		28	37.8		29	34.5	
どちらかといえばそう思わない	14	8.9	10.8	7	9.5	12.2	7	8.3	9.5
そう思わない	3	1.9		2	2.7		1	1.2	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(5)お金を取り上げる

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合は100%で、男性との差は9.5ポイントとなっています。

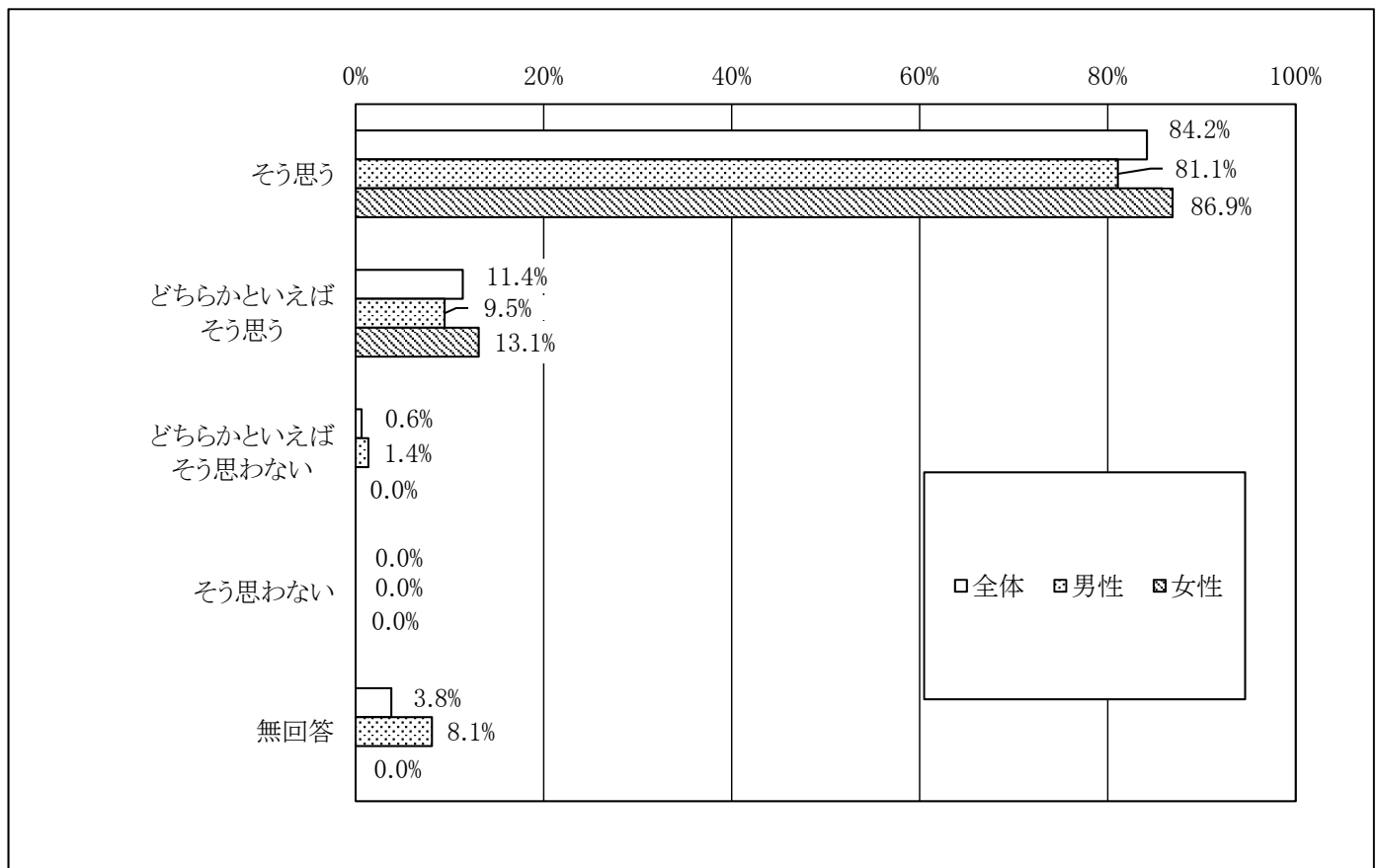
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	130	82.3	95.6	57	77.0	90.5	73	86.9	100.0
どちらかといえばそう思う	21	13.3		10	13.5		11	13.1	
どちらかといえばそう思わない	1	0.6	0.6	1	1.4	1.4	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合は100%で、男性との差は9.4ポイントとなっています。

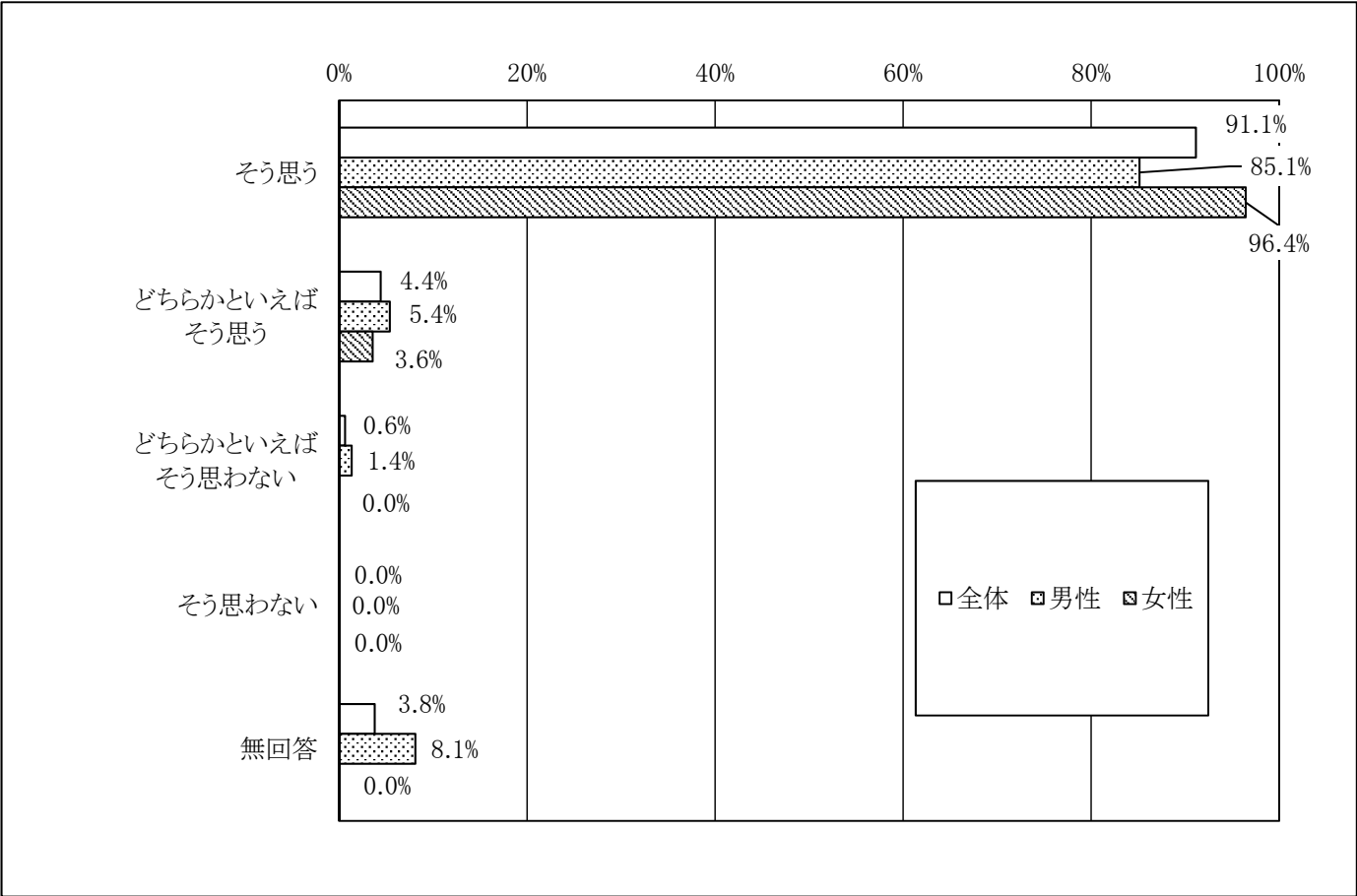
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	133	84.2	95.6	60	81.1	90.6	73	86.9	100.0
どちらかといえばそう思う	18	11.4		7	9.5		11	13.1	
どちらかといえばそう思わない	1	0.6	0.6	1	1.4	1.4	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(7)ものを投げつける

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合は100%で、男性との差は9.5ポイントとなっています。

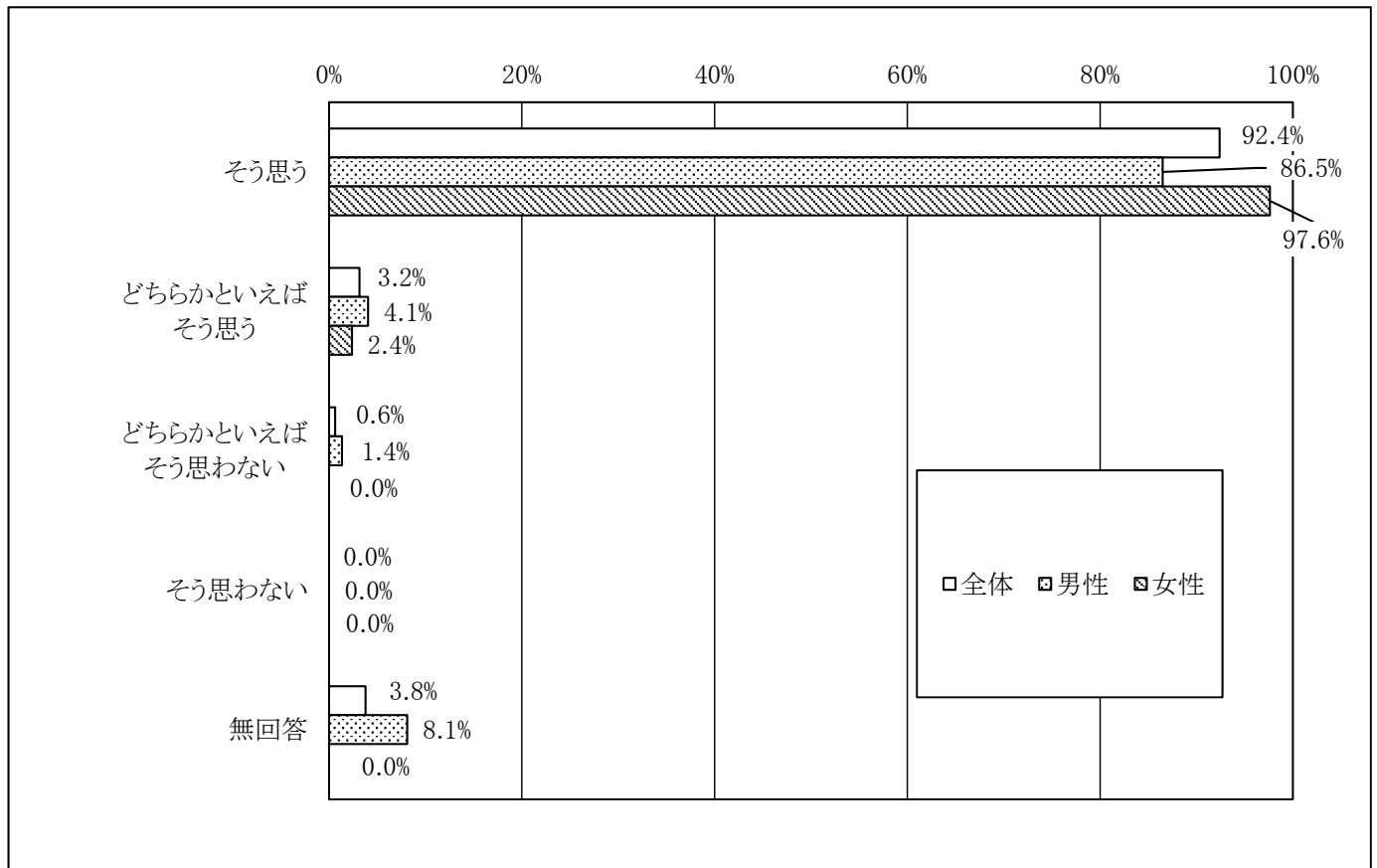
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	144	91.1	95.5	63	85.1	90.5	81	96.4	100.0
どちらかといえばそう思う	7	4.4		4	5.4		3	3.6	
どちらかといえばそう思わない	1	0.6	0.6	1	1.4	1.4	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



(8) 身体を傷つける可能性のある物でたたく

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合は100%で、男性との差は9.4ポイントとなっています。

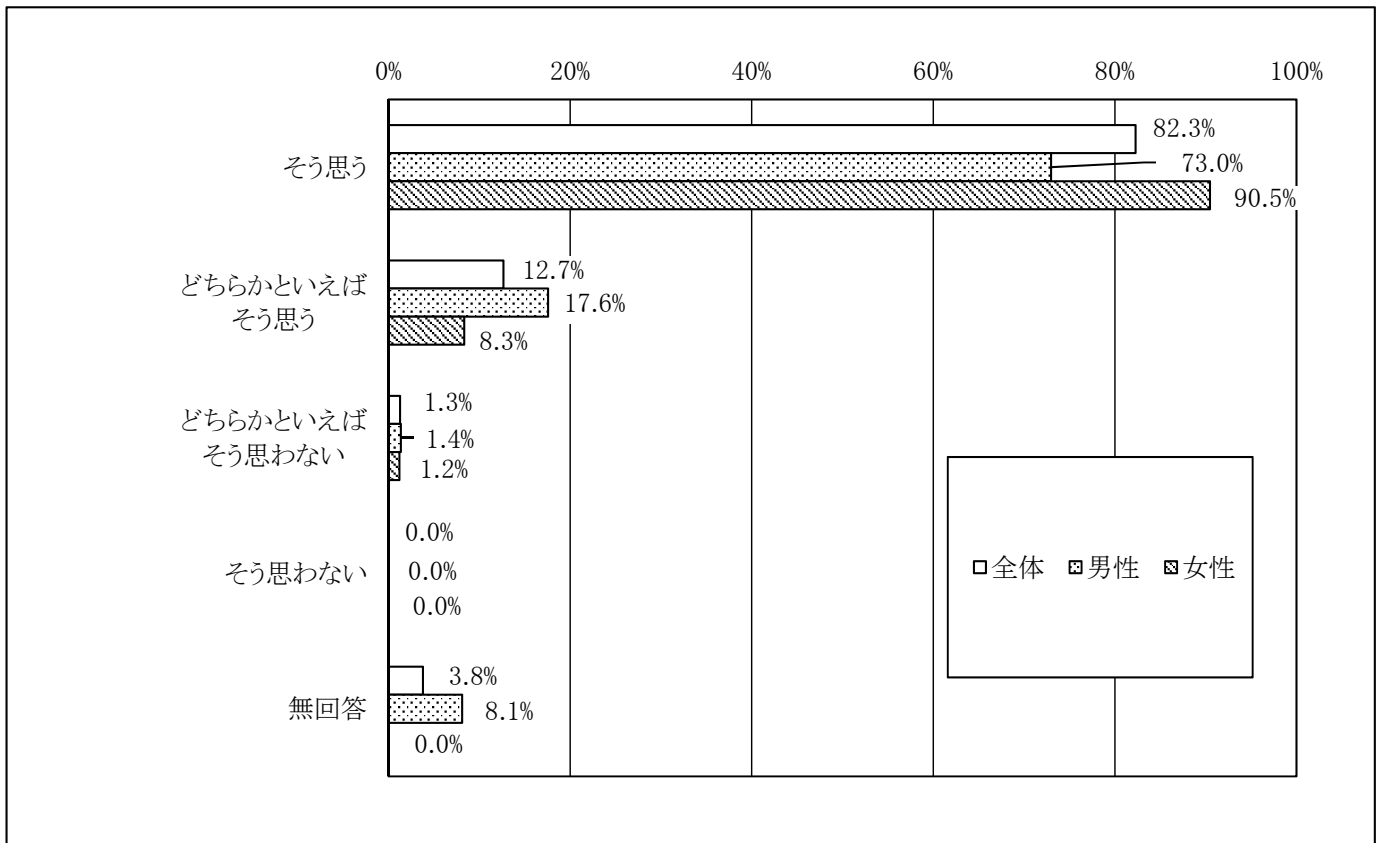
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	146	92. 4	95. 6	64	86. 5	90. 6	82	97. 6	100. 0
どちらかといえばそう思う	5	3. 2		3	4. 1		2	2. 4	
どちらかといえばそう思わない	1	0. 6	0. 6	1	1. 4	1. 4	0	0. 0	0. 0
そう思わない	0	0. 0		0	0. 0		0	0. 0	
無回答	6	3. 8		6	8. 1		0	0. 0	
計	158	100. 0		74	100. 0		84	100. 0	



(9) 相手が嫌がっているのに、無理やり体を触ったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は8.2ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	130	82.3	95.0	54	73.0	90.6	76	90.5	98.8
どちらかといえばそう思う	20	12.7		13	17.6		7	8.3	
どちらかといえばそう思わない	2	1.3	1.3	1	1.4	1.4	1	1.2	1.2
そう思わない	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
無回答	6	3.8		6	8.1		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



○ (1) ~ (9) について、昨年度と同じような割合の回答となりました。

※DV行為の種類

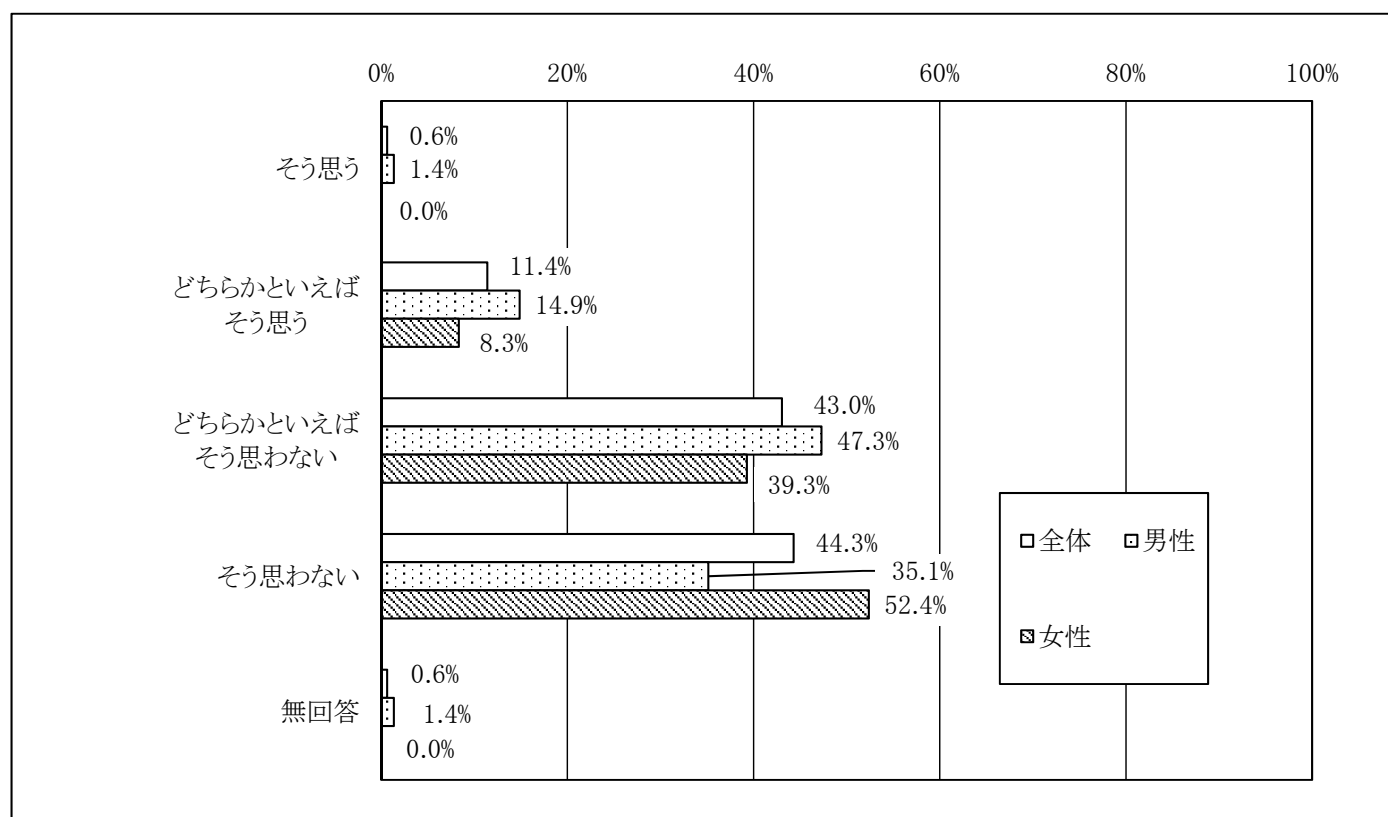
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的感情的暴力：汚い言葉を言う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻繁に電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問10. 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は9.3ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	1	0.6	12.0	1	1.4	16.3	0	0.0	8.3
どちらかといえばそう思う	18	11.4		11	14.9		7	8.3	
どちらかといえばそう思わない	68	43.0	87.3	35	47.3	82.4	33	39.3	91.7
そう思わない	70	44.3		26	35.1		44	52.4	
無回答	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	

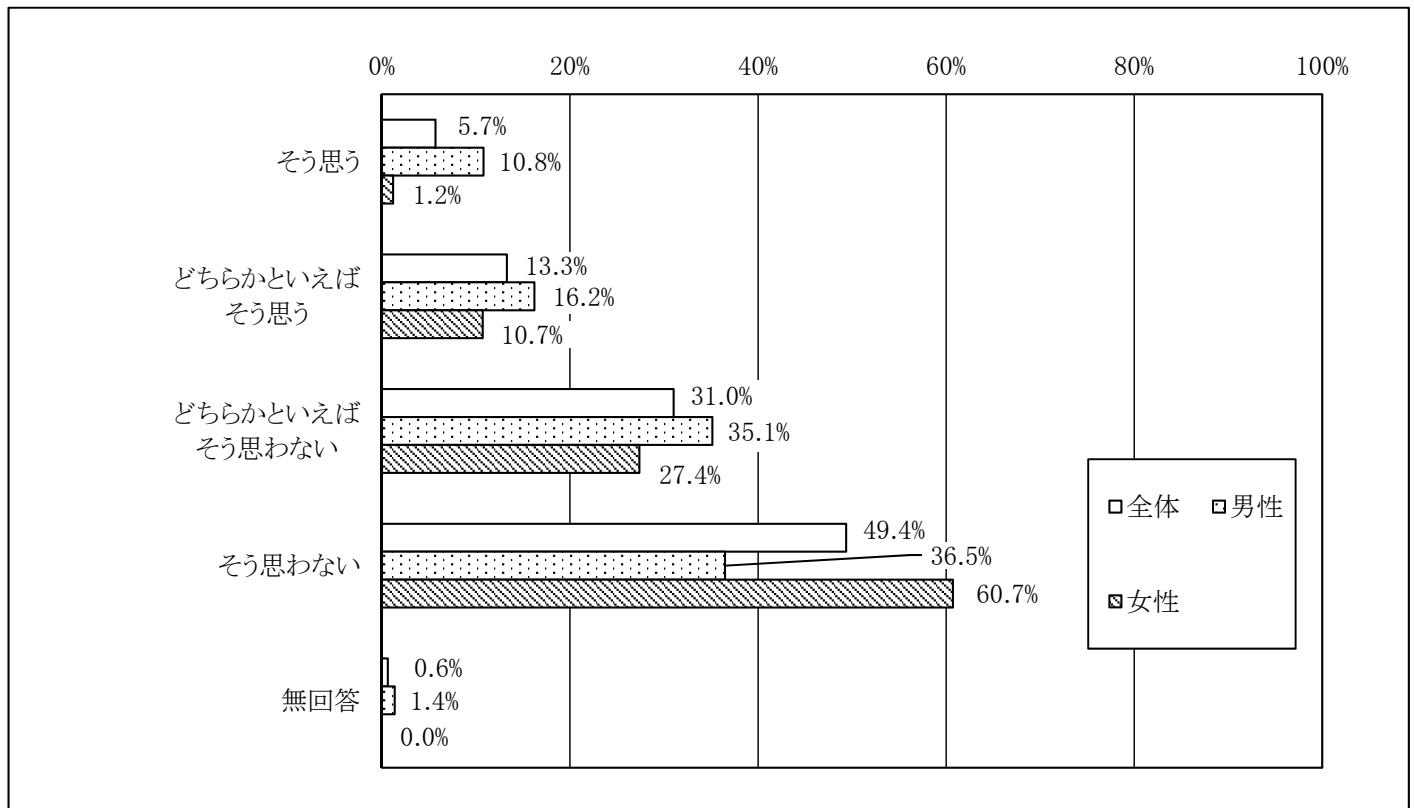


○昨年度も、8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答しましたが、男性の割合が高く、女性との差は0.6ポイントでした。

(2)家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきだ

8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は16.5ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	9	5.7	19.0	8	10.8	27.0	1	1.2	11.9
どちらかといえばそう思う	21	13.3		12	16.2		9	10.7	
どちらかといえばそう思わない	49	31.0	80.4	26	35.1	71.6	23	27.4	88.1
そう思わない	78	49.4		27	36.5		51	60.7	
無回答	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	

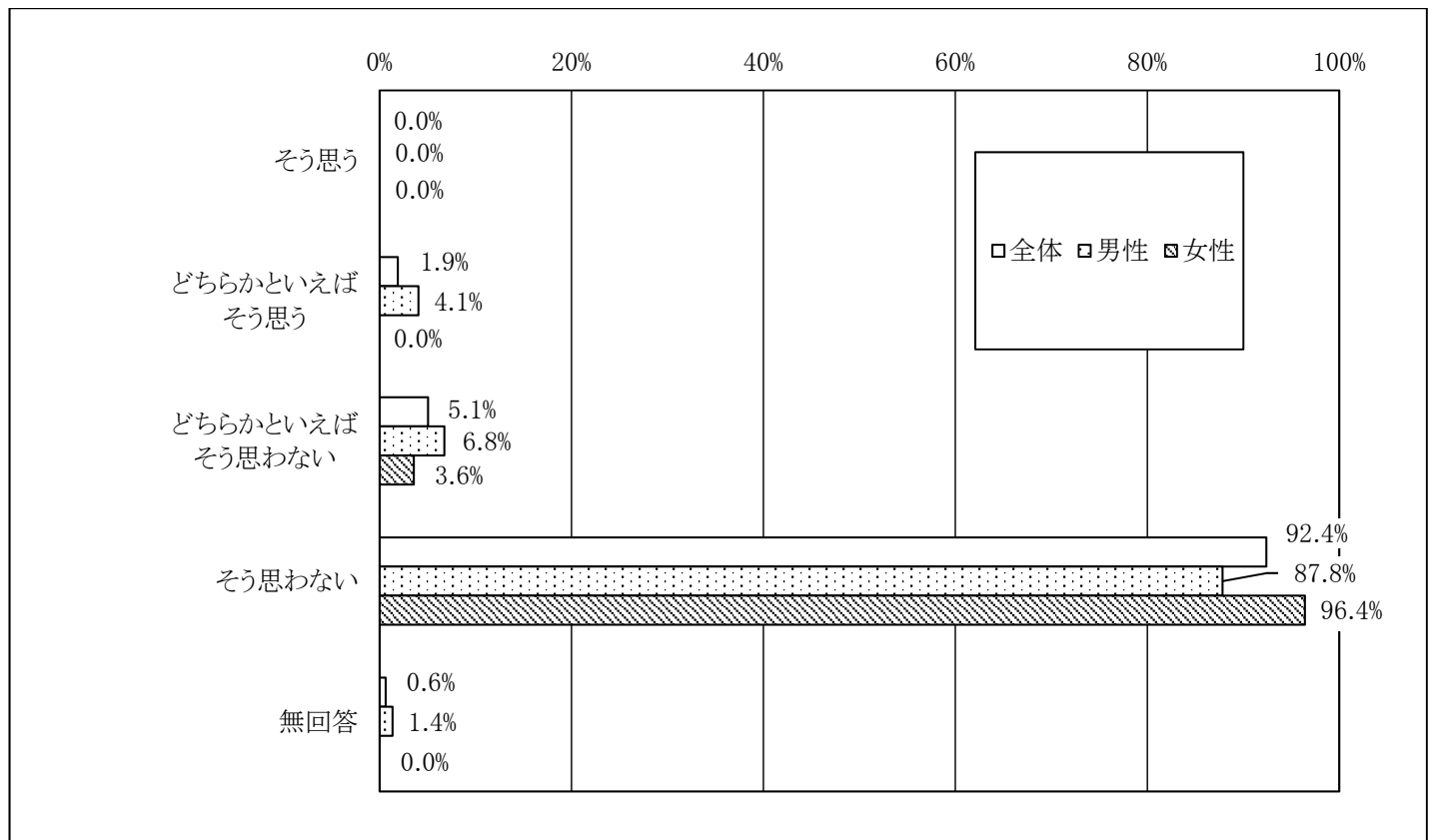


○「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」の割合が昨年度より4.1ポイント高くなりました。

(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合は100%となっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	0	0.0	1.9	0	0.0	4.1	0	0.0	0.0
どちらかといえばそう思う	3	1.9		3	4.1		0	0.0	
どちらかといえばそう思わない	8	5.1	97.5	5	6.8	94.6	3	3.6	100.0
そう思わない	146	92.4		65	87.8		81	96.4	
無回答	1	0.6		1	1.4		0	0.0	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	

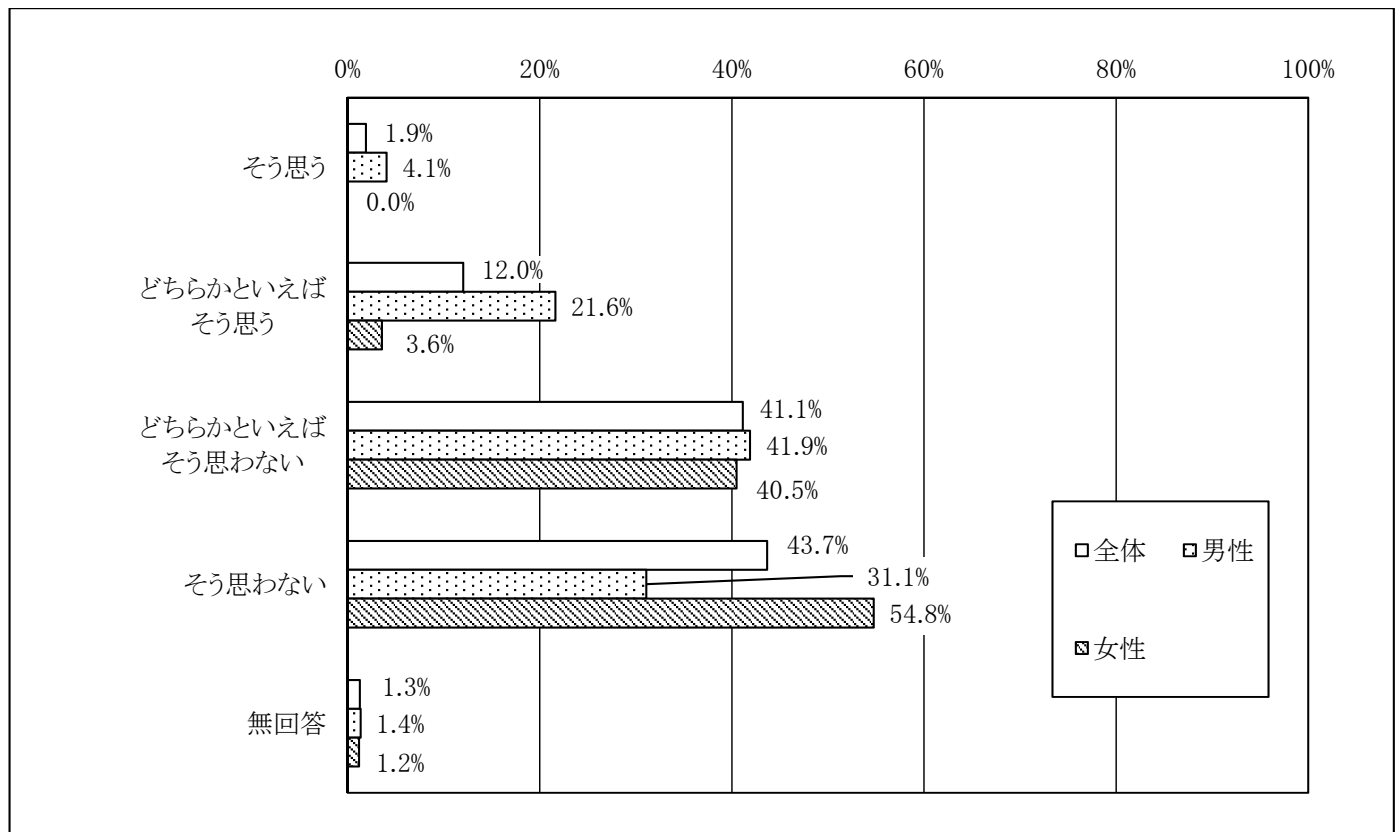


○昨年度とやや同じ割合の回答となりましたが、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が微減しました。

(4)DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は22.3ポイントとなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	3	1.9	13.9	3	4.1	25.7	0	0.0	3.6
どちらかといえばそう思う	19	12.0		16	21.6		3	3.6	
どちらかといえばそう思わない	65	41.1	84.8	31	41.9	73.0	34	40.5	95.3
そう思わない	69	43.7		23	31.1		46	54.8	
無回答	2	1.3		1	1.4		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	

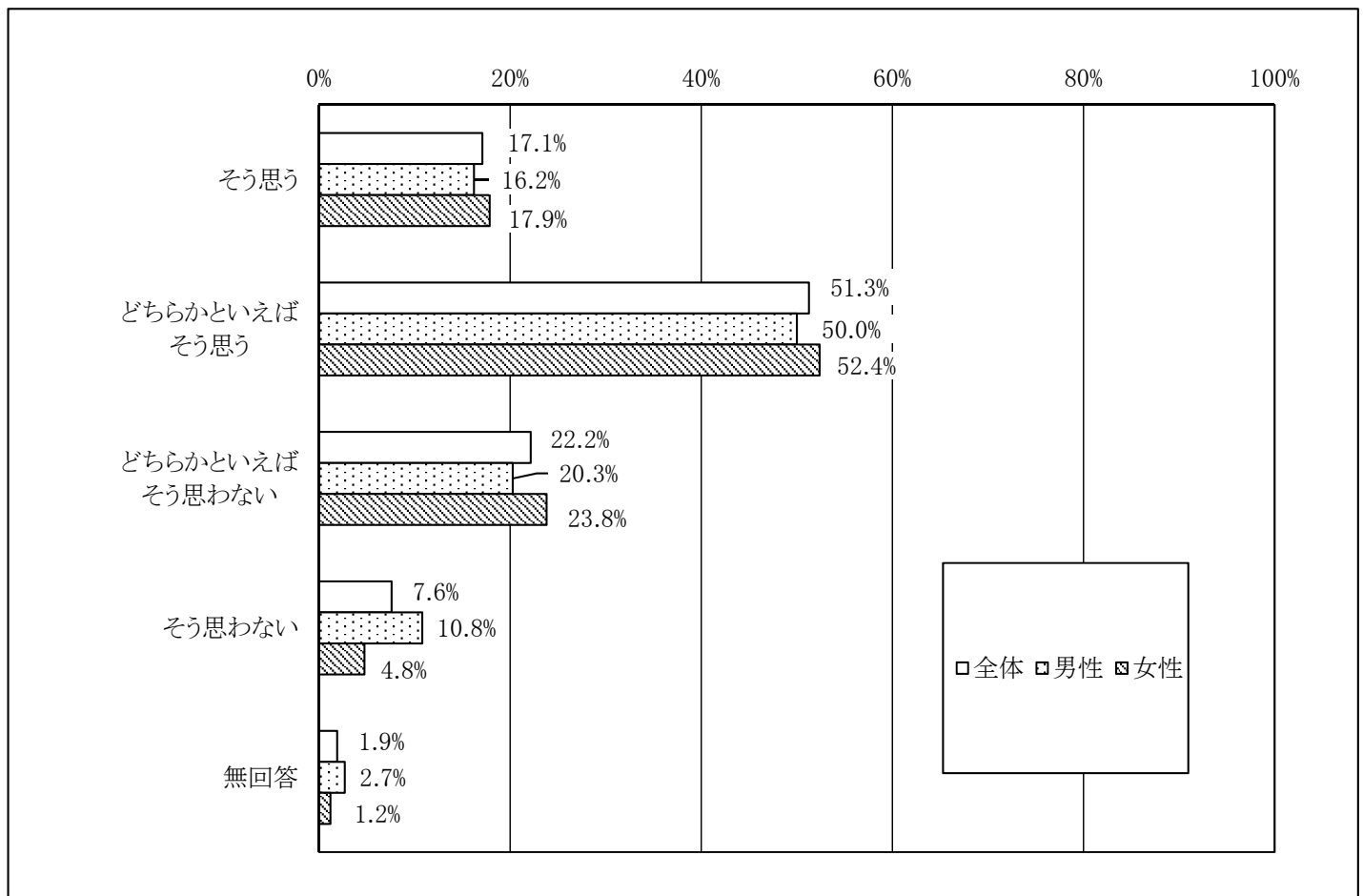


○「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の回答について、昨年度より女性の割合が8.4ポイント高くなっています。

(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

6割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	27	17.1	68.4	12	16.2	66.2	15	17.9	70.3
どちらかといえばそう思う	81	51.3		37	50.0		44	52.4	
どちらかといえばそう思わない	35	22.2	29.8	15	20.3	31.1	20	23.8	28.6
そう思わない	12	7.6		8	10.8		4	4.8	
無回答	3	1.9		2	2.7		1	1.2	
計	158	100.0		74	100.0		84	100.0	



○昨年度は、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の女性と男性との差は32.2ポイントでしたが、今年度の差は4.1ポイントとなりました。

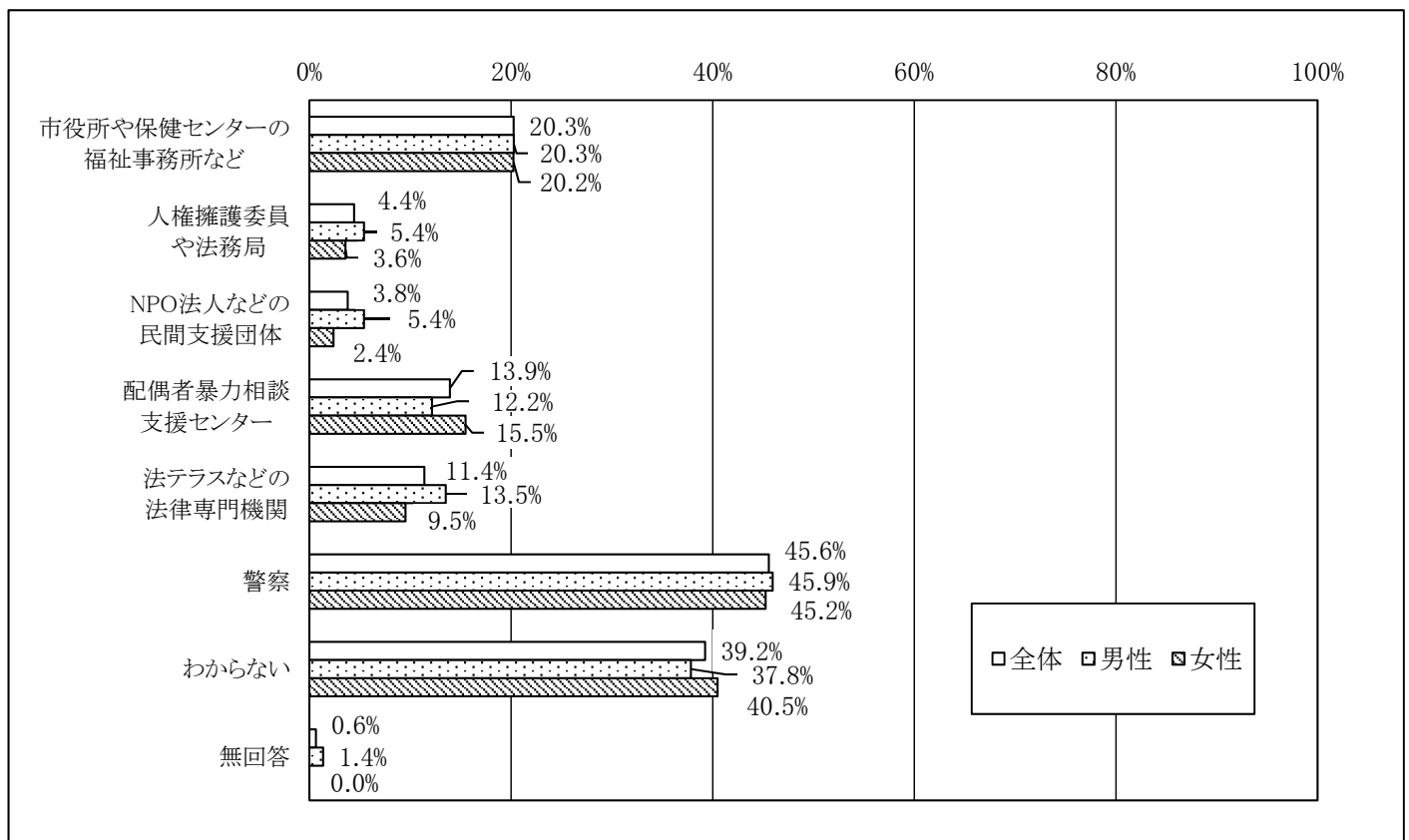
・DV行為に関する相談機関について

問11. あなたは、デートDV等の被害を受けたとき、次の相談機関のうち、どこに相談しますか。
(複数回答)

「警察」の割合が最も高く、4割以上の生徒が回答しました。次いで相談先が「わからない」の割合が高くなっています。

	全体(158人)		男性(74人)		女性(84人)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
市役所や保健センターの福祉事務所など	32	20.3	15	20.3	17	20.2
人権擁護委員や法務局	7	4.4	4	5.4	3	3.6
NPO法人などの民間支援団体	6	3.8	4	5.4	2	2.4
配偶者暴力相談支援センター	22	13.9	9	12.2	13	15.5
法テラスなどの法律専門機関	18	11.4	10	13.5	8	9.5
警察	72	45.6	34	45.9	38	45.2
わからない	62	39.2	28	37.8	34	40.5
無回答	1	0.6	1	1.4	0	0.0

※全体、男性、女性の各割合は、それぞれの生徒数に対する割合



○昨年度と同じような割合の回答となりました。相談先が「わからない」という生徒も約4割いることから、相談先の周知が必要です。

・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問12. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答) (一部抜粋)

固定概念の撤廃、男女平等な社会づくり

- ・男だから、女だからという考えをなくして、差別をなくすことで、男女両方が生きやすい社会になっていくと思いました。男女差別的な視点をなくして、これから生活していきたいと思いました。
- ・男性だから、女性だからという概念をなくし、男女平等の環境を整えること。
- ・女性だから、男性だからという固定概念がなくなれば生きやすい社会になると思う。全員が平等に活躍できる環境が大切になる。
- ・女性だからといって昇進や昇格のチャンスを奪われないように、みんな平等に昇進するチャンスがあるようになればいいと思う。
- ・女性だから力が弱いし、能力が低いから男よりも下だという考えをやめて、対等に接すること。男性に力仕事を全部任せていい、男性は強いというイメージをなくすこと。
- ・お互いの性別で差別しない。
- ・男性はこれじゃないとだめ、女性もこれじゃないとだめ、という考え方、固定するような考え方をなくすこと。女性が相談できる場所に男性も相談できる環境・社会をつくること。
- ・女性も男性も平等に接する。それぞれの役割を決めつけない。
- ・平等に活躍する機会を与える。
- ・今の日本は、他の国と比べてみて、まだ昔のことを引きずっていると思う。男は働いて、女は家事などとまだこのような固定な考えがあるので、なくしていきたい。
- ・男性が、女性が、という固定概念をなくし、皆平等であると意識し、言葉の使い方に気をつける必要があると思った。
- ・男女差別なく仕事や家事、育児ができるような環境を整えていくことだと思います。
- ・女性、男性の差別をせずに、平等な仕事、接し方をする必要があると思う。
- ・「女性だから」とか「男性だから」とか、すぐ性別を出して言葉にするのをやめることが必要だと思う。男、女の前に同じ「人間」なんだから理解し合っていきたい。
- ・一人一人平等な社会なので、一人一人が安心して暮らせるように楽しく暮らす。
- ・男性は外、女性は内などというように決めないで、女性でも外で働き自由に生活するべきだと思った。また、男女にとらわれない偏見をなくすことも大切だと思った。
- ・すべてにおいて固定した考えをやめて、男性、女性ともに自由に生きられるようにすることが必要だと思う。
- ・今はまだ男女差別が残っているので、その男女差別をなくし、固定概念もなくし、女性も男性も差別なく働いたり学習したりできる社会、環境が必要だと思う。
- ・まずはお互いに対する固定概念を無くすことだと思います。それによって、どちらかが多く負担することはなくなり、平等な社会になると思います。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・女性は男性を、男性は女性を思いやる気持ちを持つこと。
- ・お互いのことをよく理解すること、思いやりの気持ちを持つこと。
- ・互いに認め合うこと。

- ・女性、男性それぞれにしかできないことはあるので、そこは区別して、他のことは互いに協力して尊重し合っていくことが必要だと思います。
- ・女性にとっても男性にとっても生きやすい社会にするためには、男性が女性を頼りすぎるのではなく、お互いに認め合って、助け合っていくことが必要だと思います。男性が特別、女性が特別、どちらでもないの、同じような権利があるのだから、認め合わなければいけない。
- ・男女ともにお互いのことを尊重し合う。
- ・男女ともにしっかりと理解し合うべきだと思う。

その他

- ・男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランス、LGBTQについて知ってもらい、男女での差別をなくしていくこと。
- ・男女共同参画社会を進めていくことが必要だと思った。進めていくことで男女が過ごしやすくなると思った。
- ・見た目や性に関して差別をしないこと、何かしらで困っている人を助けてあげたり、相談にのってあげることが必要だと思う。
- ・男性専用や女性専用のものをもっと増やしていくことが必要だと思う。
- ・男女ともに、自分の得意なこと、苦手なことを知っていて、かつ男女どちらがどんな役割、仕事をしてもいいという空気感があれば生きやすくなると思う。
- ・職種などで男女をふるいにかけないこと。男子校・女子校の制度を減らすこと。
- ・多様性の社会だということを広める。何をしたら差別になるのかをみんなに伝える。自分の好みに生活してもよいということをみんなに伝える。どのような人だって「女性っぽくない」や「男性なのにおかしい？」のようなことを言わないようにすればいいと思った。
- ・いろんな人がいることを認められる人が多くなればいい。
- ・最近よく女性が働きやすい職場づくりとかが言われていて、いいことだと思うけど、女性のことがばかり考えられている気がするの、男性も働きやすい職場をつくっていったらいいと思う。
- ・一人一人が自由に生きていけばよいと思う。自分がしたいことをし、周りに無理にやられないように。
- ・個人の意思が尊重されて、男女関係なく物事を言える環境づくり。
- ・個人の向き不向きに合わせて役割を決めたりしたらいいと思う。一つの固定的な考えでそれぞれの長所が発揮できなくなると、働くことに対してマイナスなイメージを持ってしまうから、“性別”の区別で決めず、向き不向きで決めることが必要だと思う。
- ・女性なら女性、男性なら男性と、性別でその人はこうだと決めつけない価値観を個人が持つべきだと思います。社会全体では、性差別を全員が受けさせないように、社会の決まりをもう一度見直すことが大切だと思います。
- ・女性が働きやすい職場をつくり、男性だからという様々な差別をなくすることが大切。そのためには、女性では家事と仕事を両立できるためにワーク・ライフ・バランスを意識した職場が必要。
- ・実力社会にすればいいと思う。できる人は男女関係なく高学歴だったり、実力にあった給料をもらえばいいし、そうでない人は自分にあった実力でほどよくすればいいと思う。
- ・正直、男女がどちらも生きやすい社会を作るなんてことは不可能だと思う。